

令和3年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

調査対象者別



神石高原町教育委員会

目 次

調 査 対 象 者 別

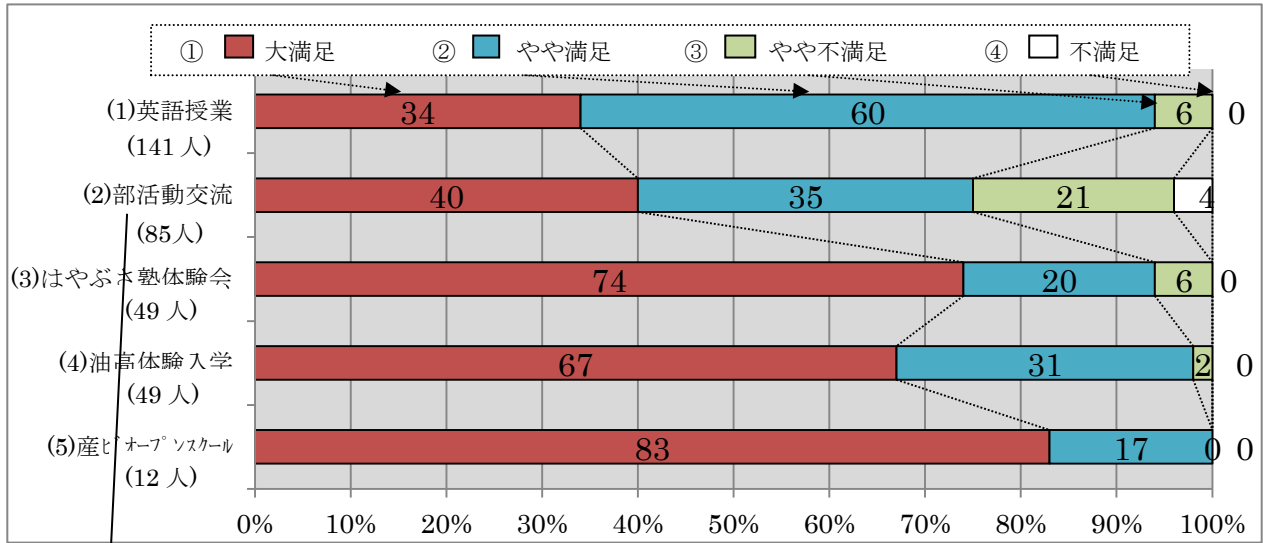
	ページ
1. 中学生 編	1 ~ 9
2. 高校生 編	10 ~ 19
3. 中・高教職員 編	20 ~ 22
4. 小・中保護者 編	23 ~ 28
5. 地域 編	29 ~ 30

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>155人</u> / 在籍者数	163人
2. 高 校 生	回答者数 <u>154人</u> / 在籍者数	165人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>48人</u> / 全教職員数	50人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>154人</u> / 対象児童数	163人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>155人</u> / 生徒総数	163人
6. 地 域	回答者数 <u>77人</u> / 質問者数	110人

1. 町内中学生編

1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目について、その感想を教えてください。



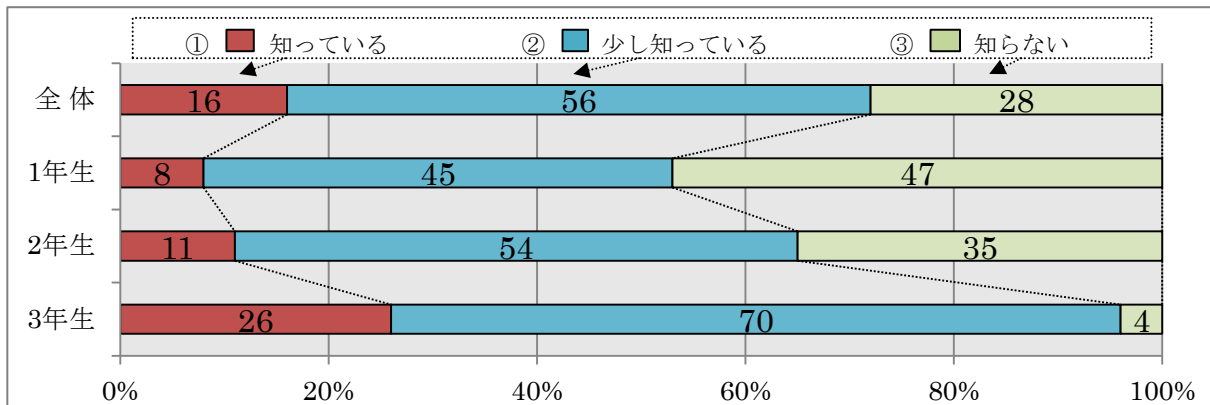
<部活動交流> 卓球 (三中：6人+神中：10人), バレー (11+8), ソフトテニス (3+2), 野球 (11+7), 陸上(7+0)
吹奏楽部 (10+5), 美術部 (0+4), 剣道 (1+0)

考察 交流授業で「英語」の授業満足度は94%（昨年：92%）が「大満足・やや満足」で、本年度も高い肯定的回答であった。しかし、今後一層「大満足」を高めていくために、町研教科部会等で情報交流・授業交流などしながら有効策を追究していく必要がある。

その他の項目の中では、これまで「大満足」が一番多かった「部活動交流」（昨年：67%）は、本年度は半分以下（40%）となったが、これはコロナ対策で十分な交流ができなかったためと考えられる。

2 神石高原町では「油木高校の魅力づくり」として、色んな支援（部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」の開設・海外<短期・長期>研修事業への支援・各種検定受験料の補助）を実施していますが、そのことについて次の質問に教えてください。

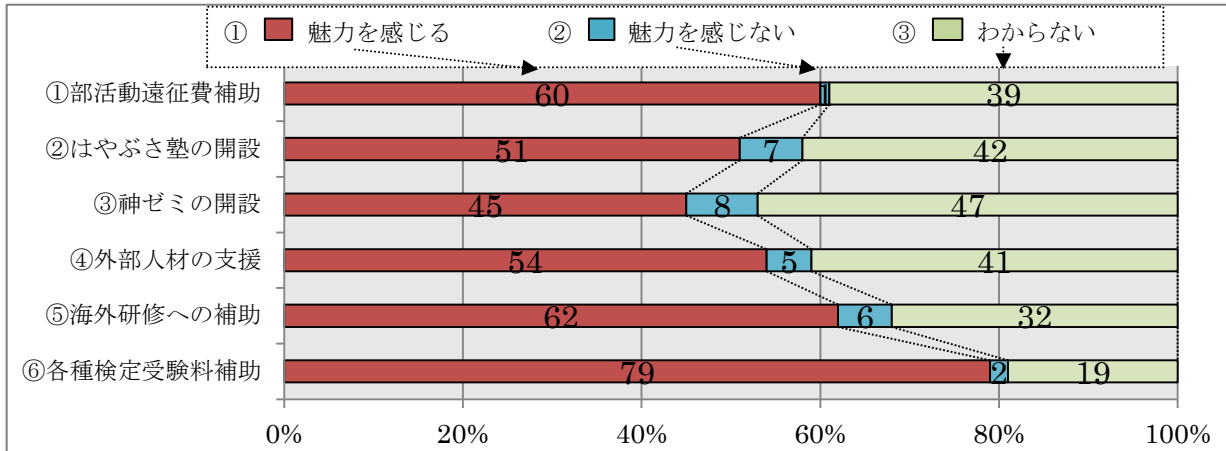
(1) 油木高校へ色んな支援内容について知っていますか。



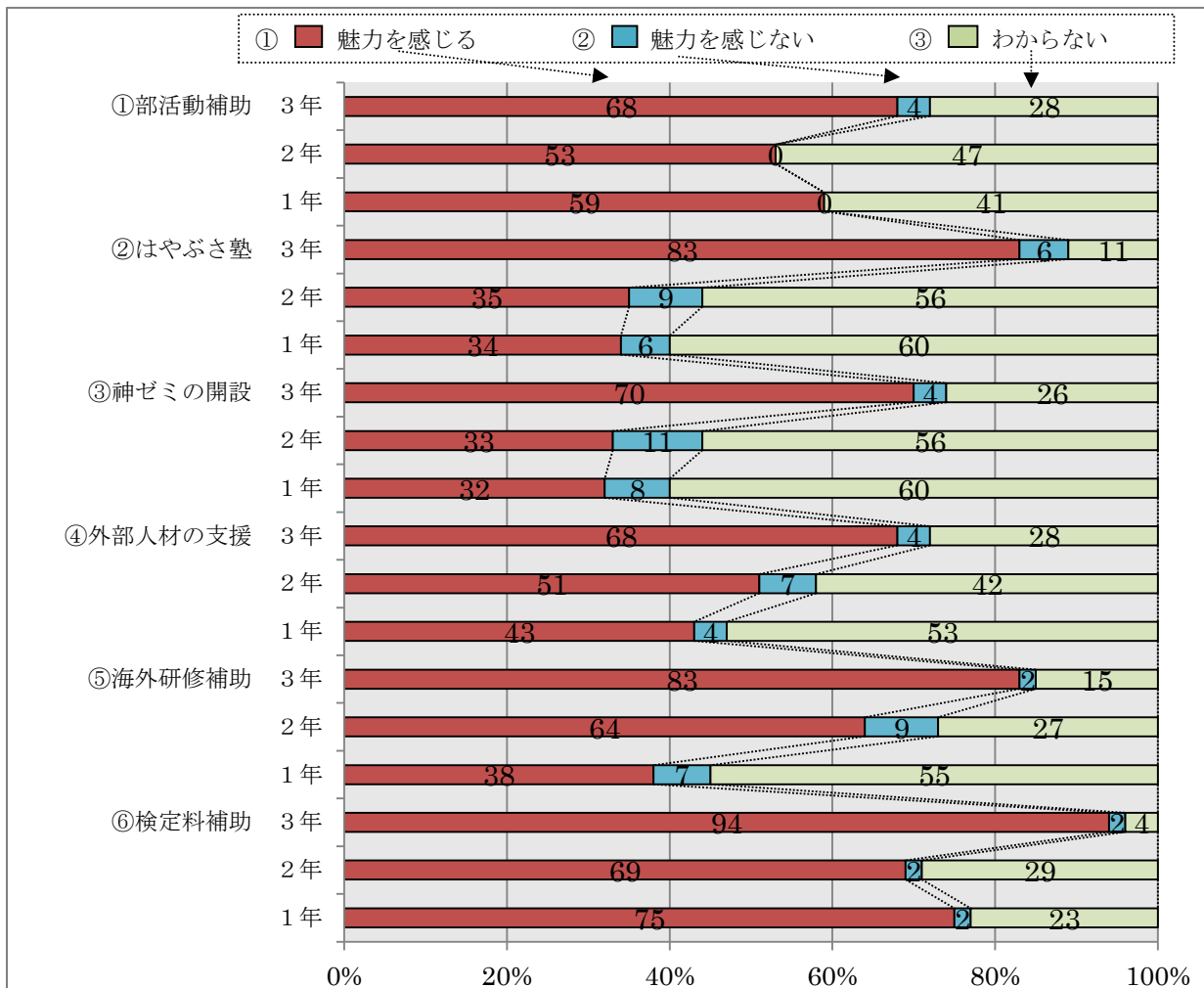
考察 ・支援内容の認知度は、3年生の「知っている」26%が一番多く、「少し知っている」を合わせると96%と非常に高い認知度である。これは、全中学生へのリーフレットの配布や中3生の進路説明会で「町からの支援内容」の説明時間を頂いていることも影響していると思われる。今後も引き続きよろしくお願い致します。

(2) 次のような支援（①部活動遠征費補助 ②はやぶさ塾の開設 ③海外短期・長期研修への支援 ④各種検定受験料の補助）についてどう思いますか。

< 2校全体では >



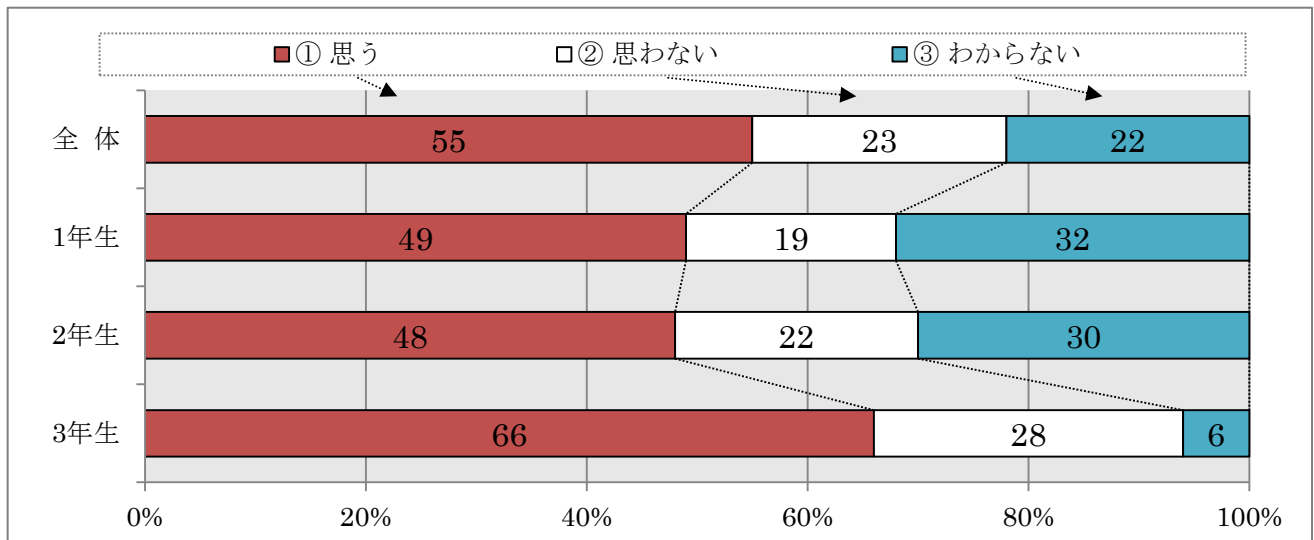
< 学年別では >



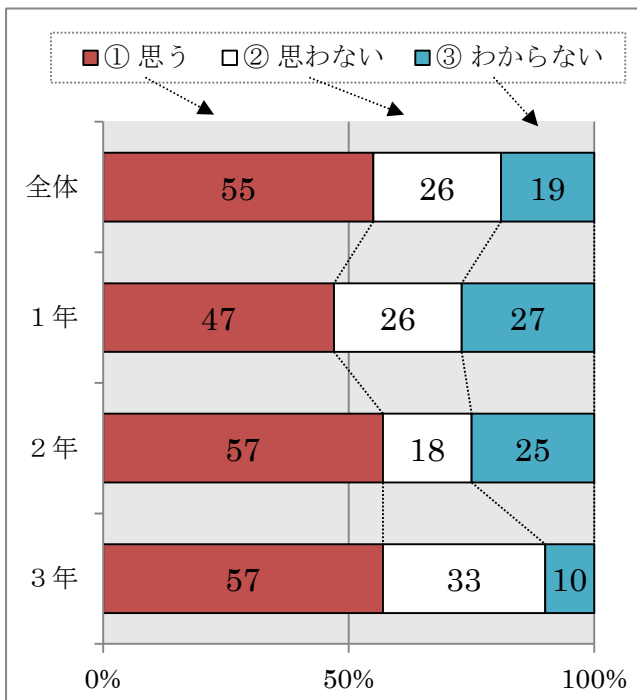
考察 ・2校全体では、「魅力を感じる」が50%以下のものは、「神ゼミ」の45%だけであった。現在は中学生にも「神ゼミニュース」を配布して、活動内容などを情報提供しており、中3生の魅力度は70%と高い。
 ・学年別では、いずれの項目も3年生の評価が一番高く、どの項目も60%以上「魅力を感じる」と回答しているが、1・2学年はだいたい同じような「魅力度」の評価であった。

③ (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

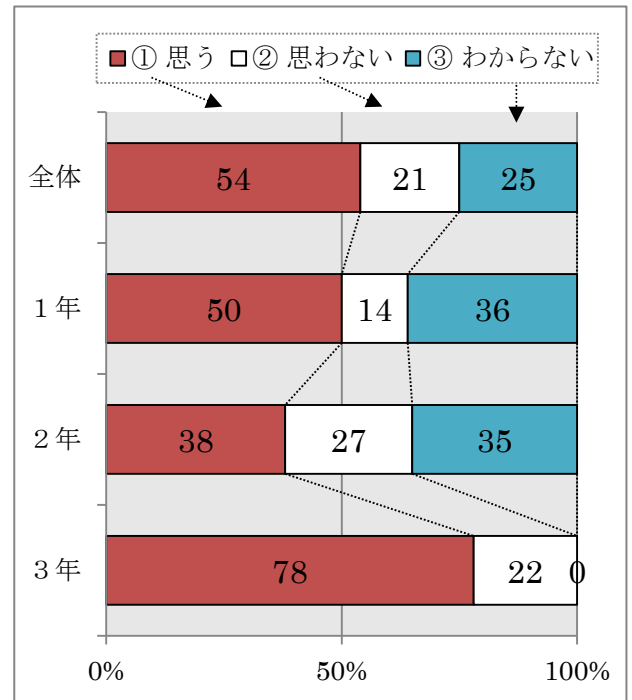
< 2校全体では >



< 三和中 >



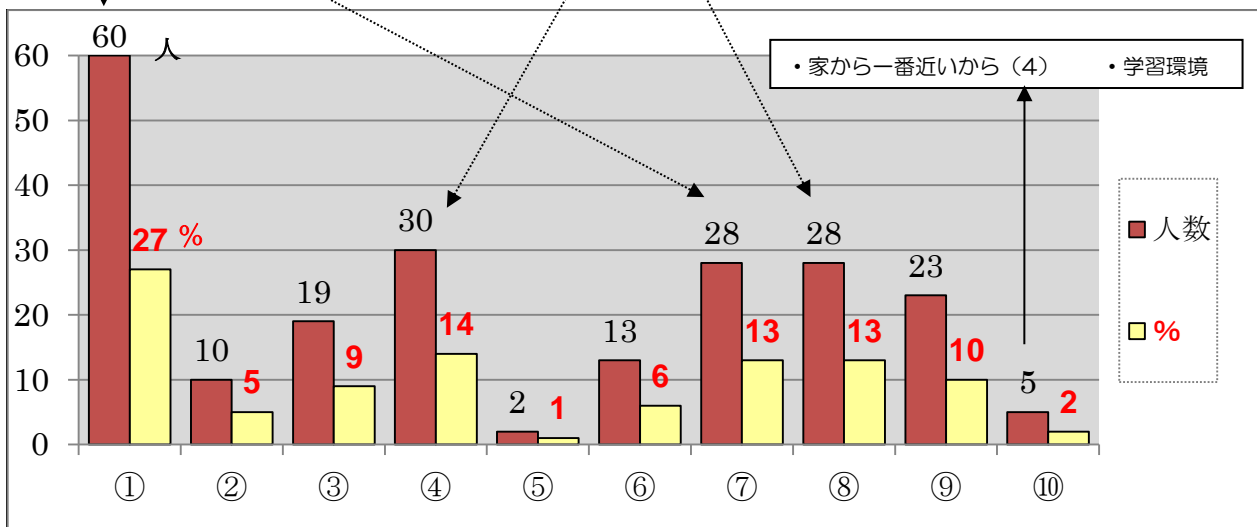
< 神石高原中 >



(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

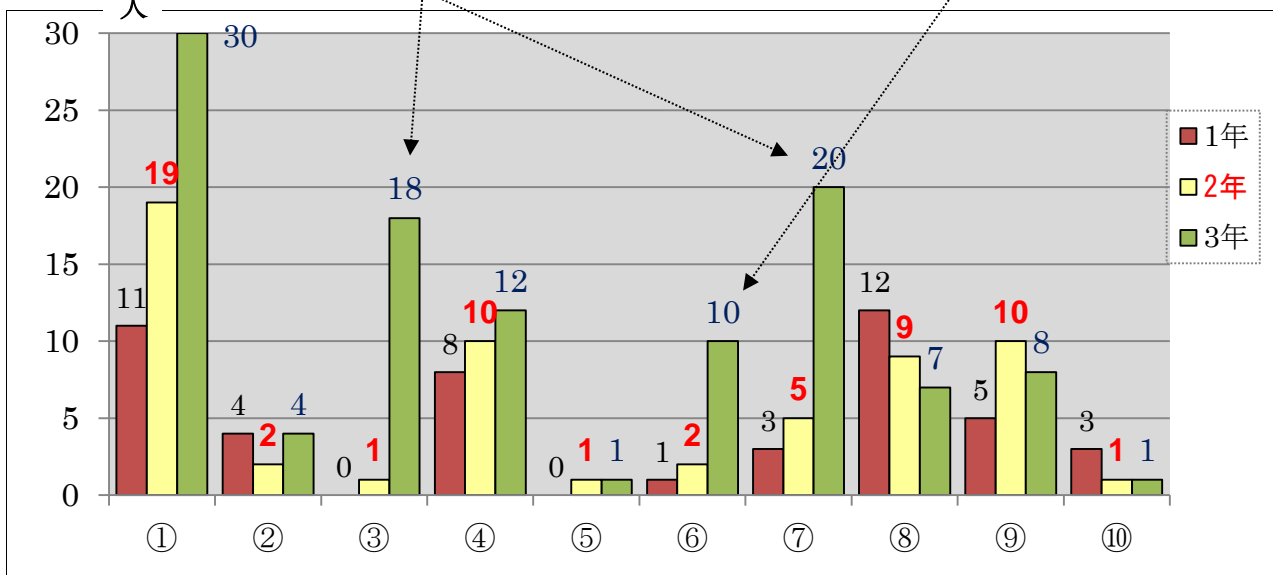
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
 ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の等の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
 ⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

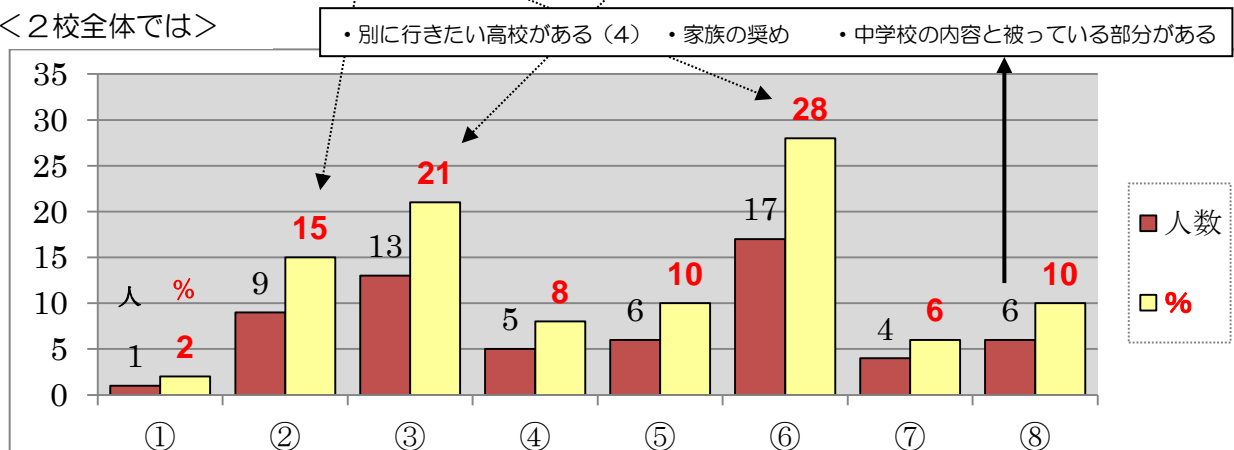


考察 ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（27%）、2位：④ クラブ活動（14%）、3位：⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）・親、家族の薦め（13%）で、「クラブ活動」が上位に来たのは初めてである。
 ・学年別で特徴的なものとしては、3年生が他学年にはあまり無い項目（⑦「町の支援」、③「教育内容面」、⑥「施設設備がよい」）を多く挙げている。これは、3年生が油木高校体験入学などを通して油木高校の良さを多方面にわたって感じているものと思われる。

(3) 3(1)の質問で「②(油木高校へ進学したいと) 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。(複数回答可)

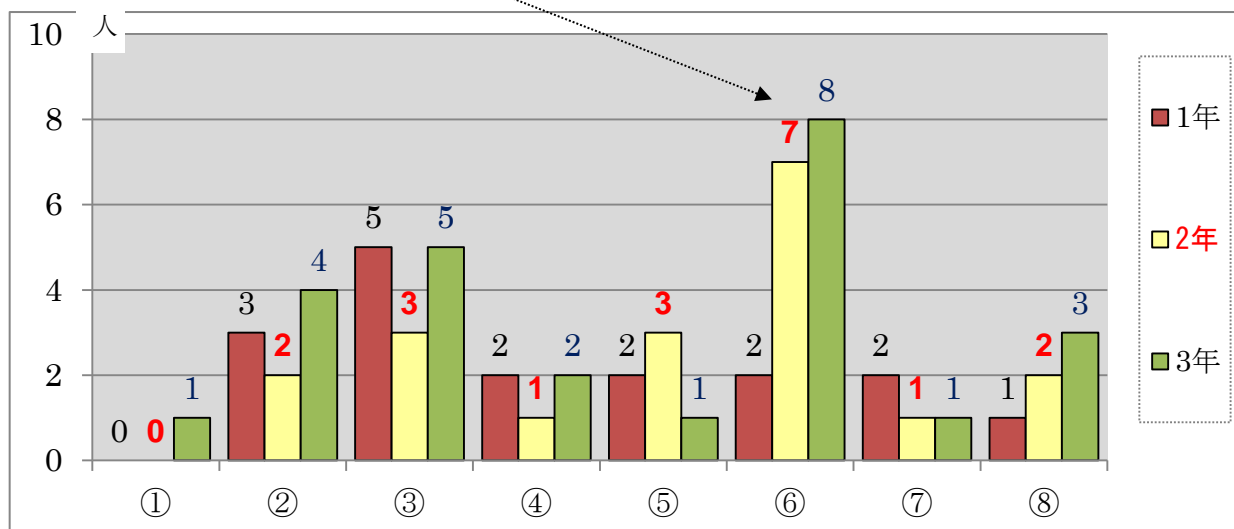
- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<学年別の人数では>

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(28%)、2位：③「クラブ活動面」(21%) 3位：②「教育内容面」(15%)、となっており、ほぼ例年とあまり差異はない。

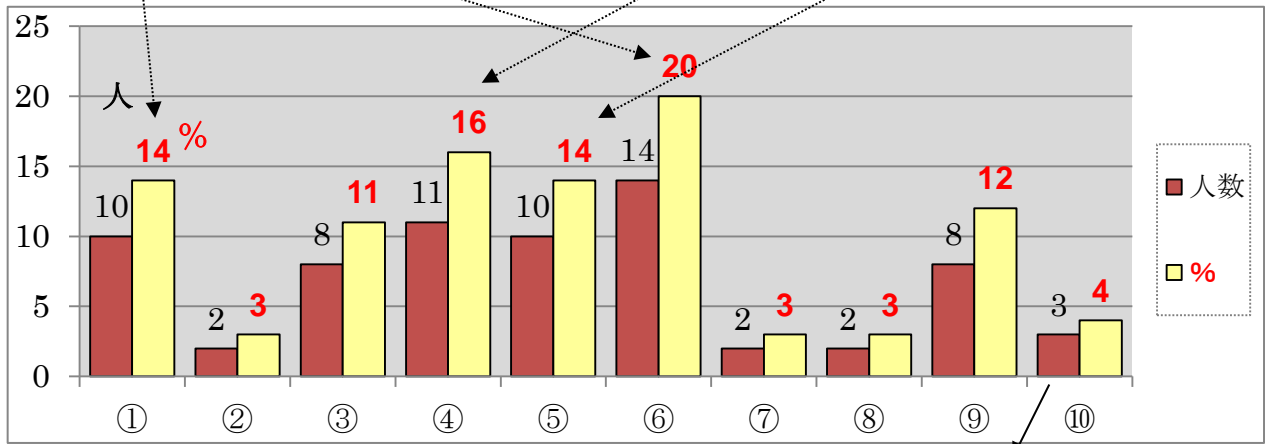
・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が最も多い。それだけに町内中学校での進路説明会時に油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上にしっかりと紹介していくことも必要である。

・各中学校において、油木高校生(特に出身中学生)が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語って頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会(例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など)が持てれば、大変効果があると思われる。←(高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく)

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。 下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

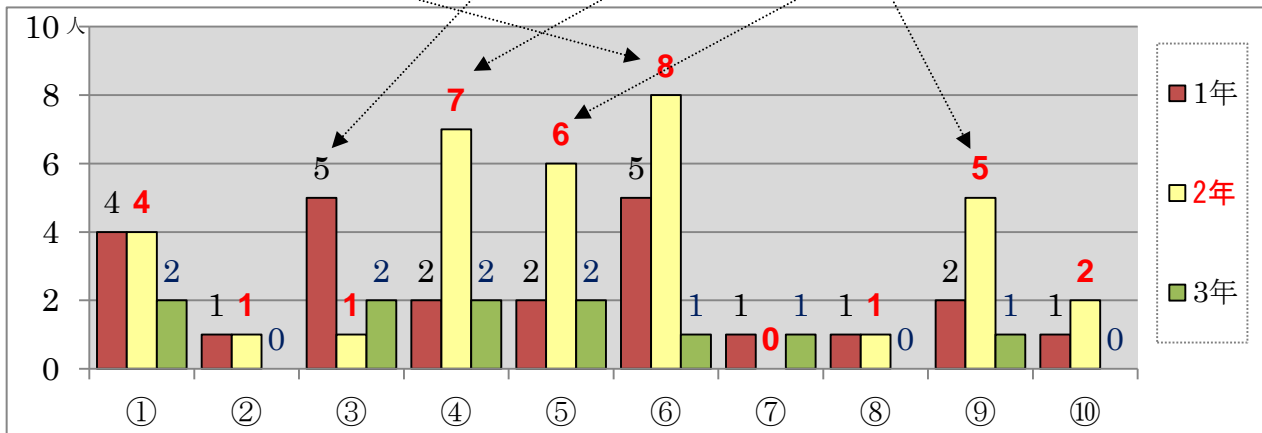
<2校全体では>



・他の高校に行きたい(2) ・家の事情とかでまだ分からない

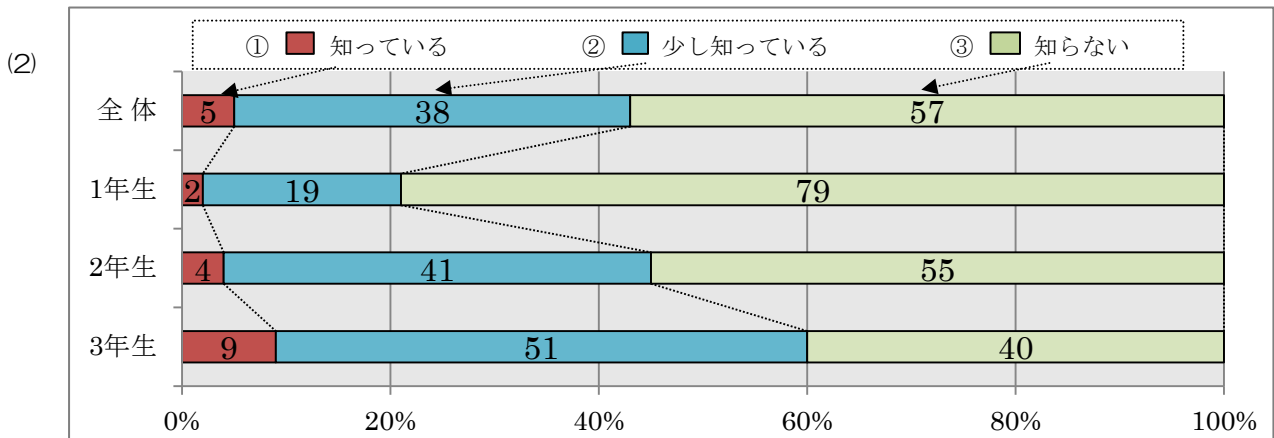
- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<各学年別の人数では>

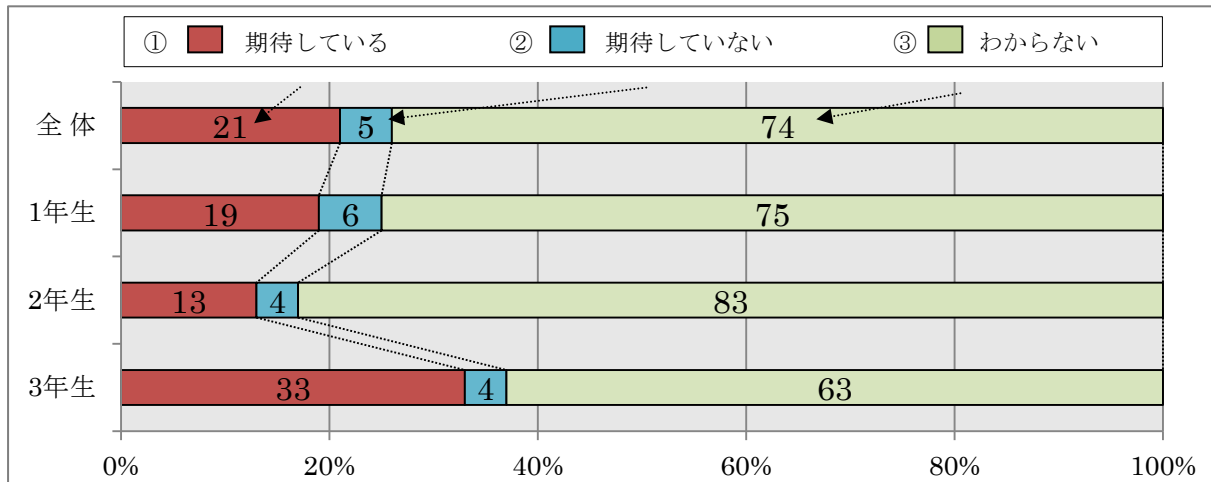


考察 ・2校全体で多い順は、1位：⑥「クラブ活動面」(20%)、2位：④「教育内容面」(16%)、3位：①「通学便」・⑥「施設設備面」(14%)となっており、例年と比較して多少順位は違うがあまり大差はない。
 ・各学年別に見たときの特徴としては、1年生は③「進路実績」が他学年に比べて多く、2年生は⑥「クラブ活動面」次いで、④「教育内容面」、⑤「施設設備面」、⑨「友人関係」などが他学年と比べて多かった。3年生は全体的に人数が少なく、突出したものもない。

- ④ (1) 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を実施していますが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



「油木高校魅力化+プロジェクト」に期待感を持っていますか。

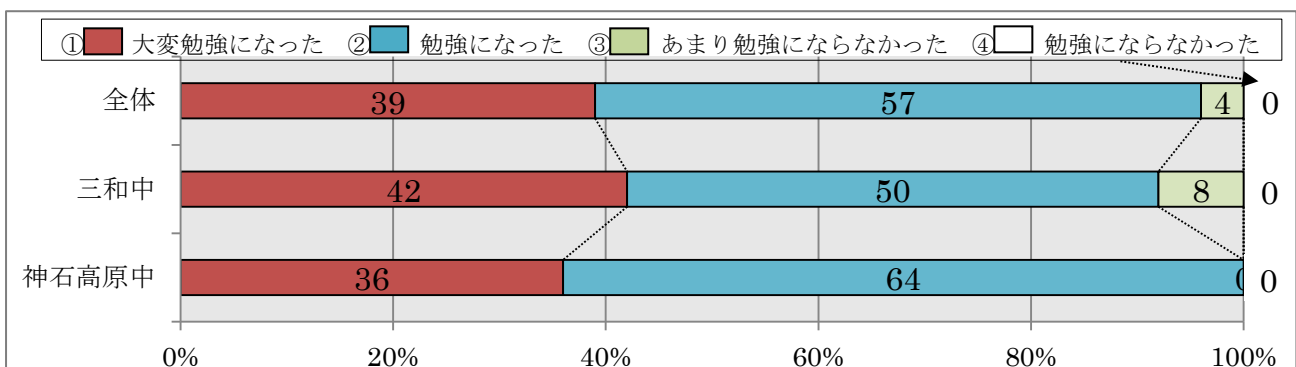


考察 ・中学生の「油木高校魅力化+プロジェクト」の認知度（知っている・少し知っている）は、全体で43%（昨年40%）と昨年度とあまり変わらない。3年生は本年度60%で、昨年度の83%よりも低くなっている。

「放課後 神ゼミ」が発行している情報紙を学校ホームページに掲載したり、全中学生に配布しているがまだまだ知らない人が多いので、認知度を高めていく取り組みが必要である。

・中身を十分知らない中で、期待度を尋ねるのは少し無理もあるが、「油木高校魅力化+プロジェクト」

- (3) 本年度12月15日に油木高校が実施された「総合的な探究の時間」等の学習成果発表会に参加した生徒で、高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。

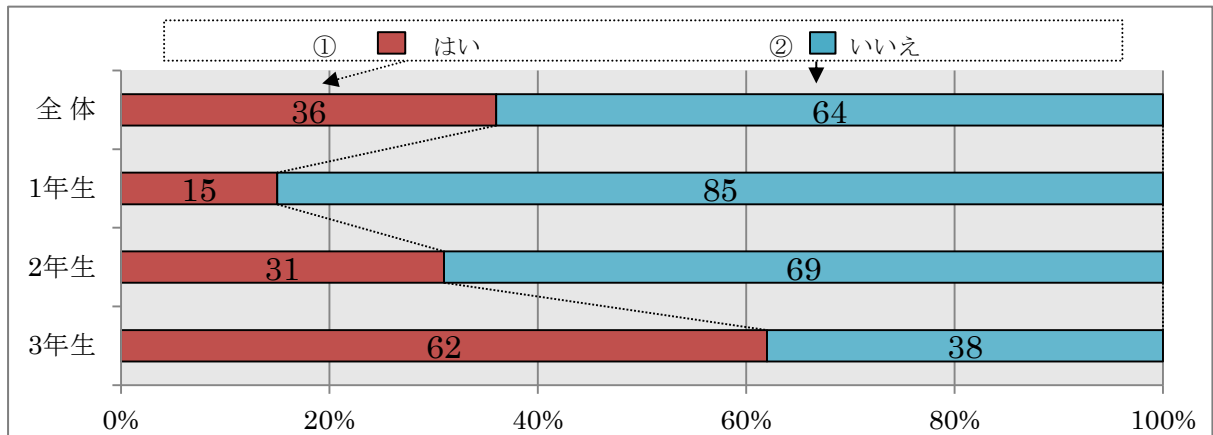


考察 ・この設問は今回が初めてであるが、ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価をしている。

・両中学校とも2年生が学習成果発表会に参加しているので、今後の学習に役立つものと思われる。そして、油木高校の普通科そして産業ビジネス科の学習内容も少しは理解できたのではないと思われる。

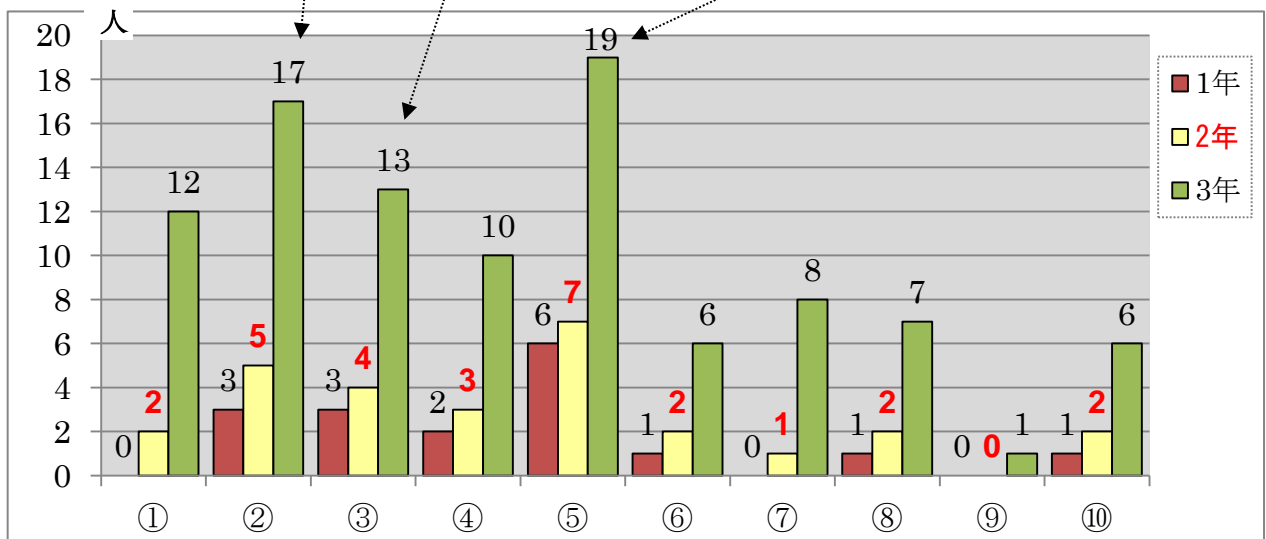
・「総合的な学習（探究）の時間」は中高連携教育の軸となっているので、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要がある。

⑤ (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



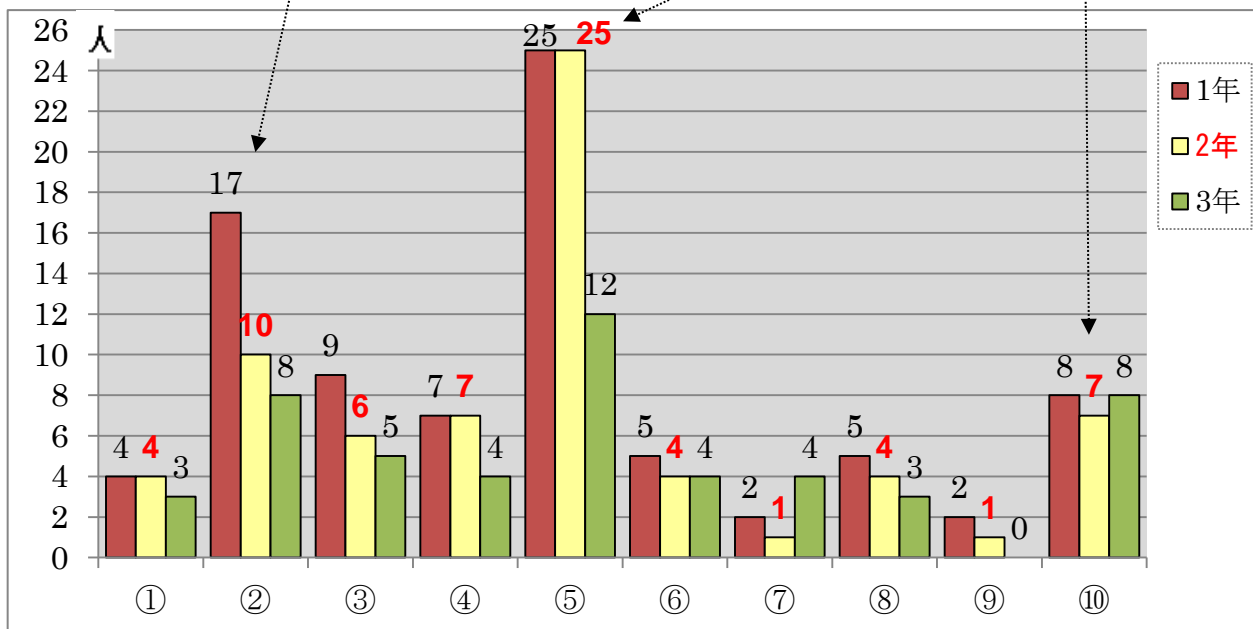
(2) 上記5(1)の質問で「①はい」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パンフレットダウンロード ⑩ オーストラリア姉妹校連携



(3) 上記5(1)の質問で「①いいえ」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心がありますか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソレットダウンロード ⑩ オーストラリア姉妹校連携



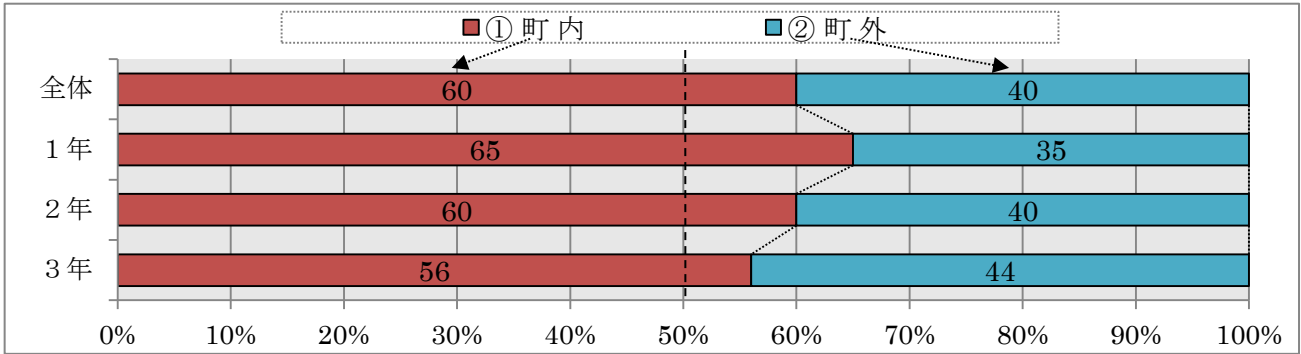
考察 ・油木高校ホームページを見たことのある生徒は全体で30%（昨年度40%）と半分を切っているが、中3生は62%と、やはり高校への関心が高いことが伺われる。

・「見たことがある生徒」で興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」の順であった。そして、3年生は⑦「連携型中高一貫教育」に興味関心が高いようである。

・「見たことがない生徒」で、興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：④「オーストラリア姉妹校連携」の順で、「見たことがある生徒」とあまり大差はない。

2. 油木高校生 編

① あなたの出身中学校は、どちらですか。



<学年別・学科別の人数表>

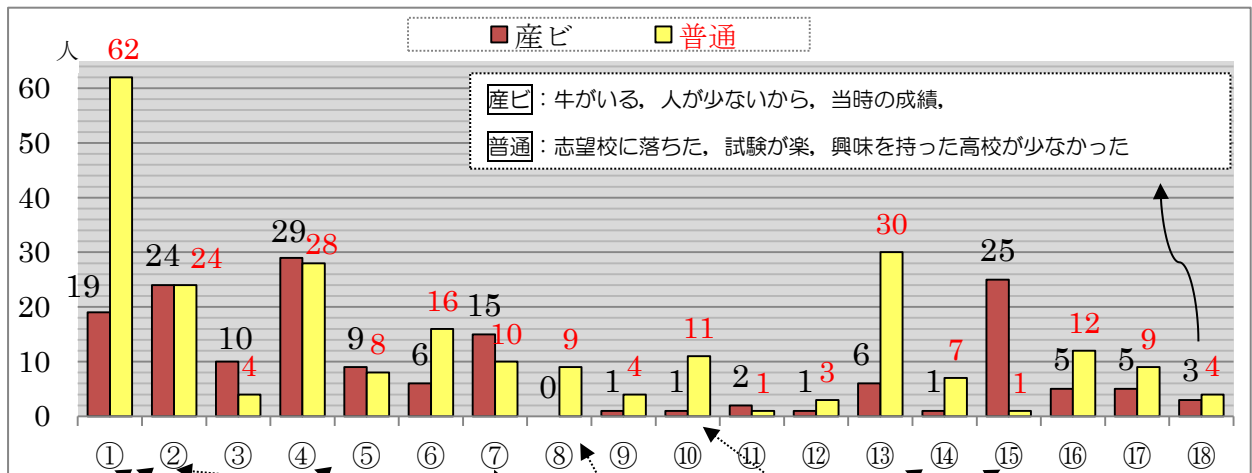
(人)

	産業ビジネス科			普通科			計		
	町内	町外	計	町内	町外	計	町内	町外	計
1年生	6	14	20	25	3	28	31	17	48
2年生	9	17	26	26	6	32	35	23	58
3年生	8	15	23	19	6	25	27	21	48
計	23	46	69	70	15	85	93	61	154

考察 ・全体的には、6対4で町内生徒が多いが、学科別で見ると、産比科の町外生徒が67%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、最近では次第に増加傾向にあると言える。

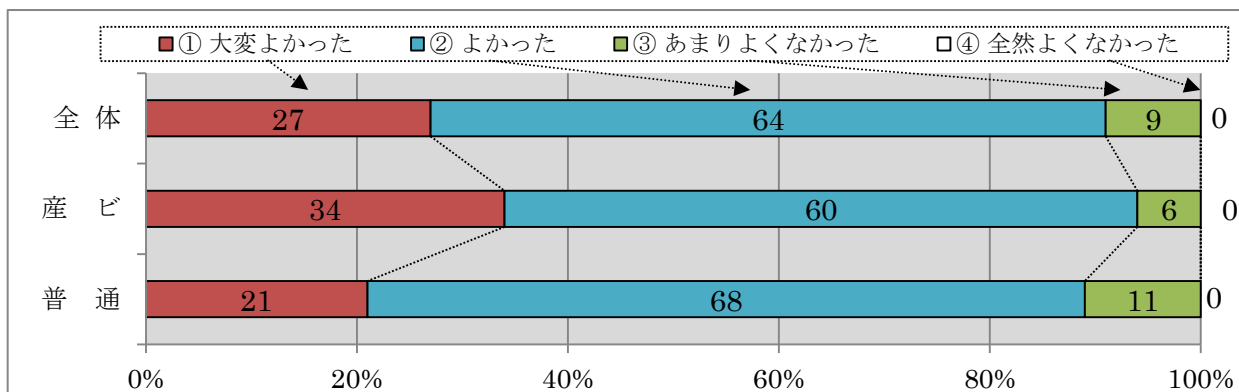
② あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- | | | | |
|-------------|-----------|----------|------------|
| ① 自宅から近い | ② 親・家族の薦め | ③ 先生の薦め | ④ 自分の希望 |
| ⑤ 教育内容面 | ⑥ 部活動面 | ⑦ 寮がある | ⑧ はやぶさ塾がある |
| ⑨ 放課後神ゼミがある | ⑩ 海外研修がある | ⑪ 進路実績 | ⑫ 評判 |
| ⑬ 友人関係 | ⑭ 経費が安い | ⑮ 学科への興味 | ⑯ 通学費の補助 |
| ⑰ 兄弟が通学している | ⑱ その他（ ） | | |



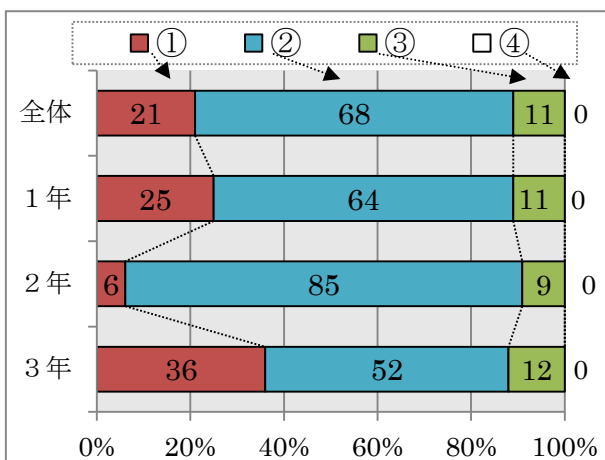
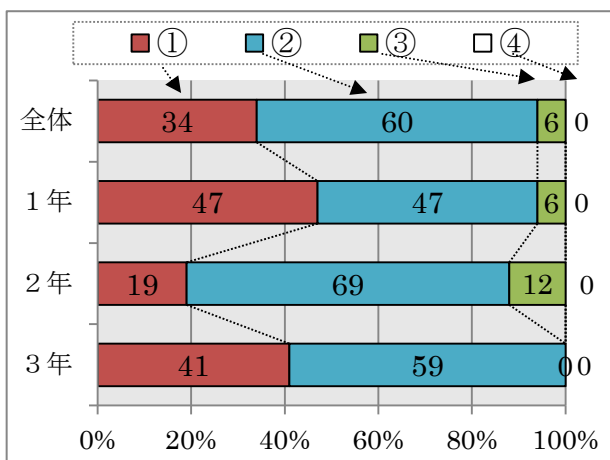
考察 ・全体的には、①「自宅から近い」や④「自分の希望」、そして②「親・家族の薦め」が多い。
・学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」⑧「はやぶさ塾がある」⑩「海外研修がある」⑬「友人関係」が産比科よりもかなり多く、産比科では⑦「寮がある」⑮「学科への興味」が多いのが特徴である。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >

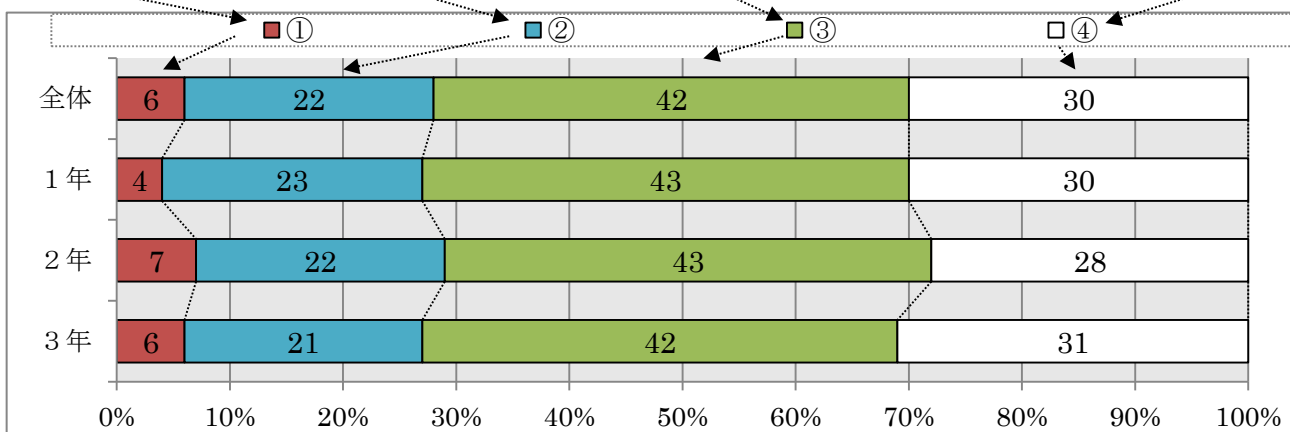


考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（91%：昨年86%）が「よかった」と肯定的回答をしている。
 ・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で34%（昨年34%）、普通科は21%（昨年23%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科6%（昨年12%）、普通科11%（昨年16%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ科・普通科共に0%であった。
 ・学年、学科ごとでは、3年生の産ビ科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年96%→100%）、同じく2年生は（昨年77%→88%）、一方、普通科3年生は（昨年81%→88%）、2年生は（83%→91%）といずれも前年を上回る回答率であった。

④ 本町では、油木高校の教育充実のために色々な支援を行っていますが、そのことについて次の質問に教えてください。

(1) 本町では本年度「油木高校生への8つの支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。

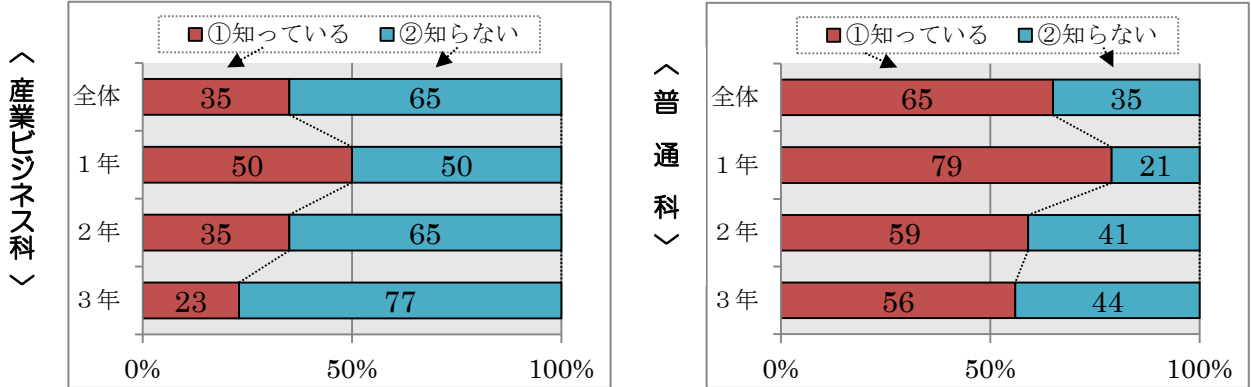
① 6以上は知っている ② 4～5は知っている ③ 2～3ぐらいは知っている ④ ほとんど知らない



考察 「6以上は知っている」が全体で6%（昨年3%）と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が30%（昨年39%）で、毎年度新しいリーフレットを生徒並びに教職員へ配布しお知らせしているが、今後一層の周知活動に努めながら、油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。

なお、「油木高校生への8つの支援」リーフレットの学校送付時には、機会を捉えて生徒への紹介をお願いします。

(2) Q1 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産ビ科	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	3
普通科	5	3	2	10	7	4	3	14	0	1	0	1
計	5	3	2	10	7	5	3	15	3	1	0	4

Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみたの感想はいかがですか。

① 大満足 ② 満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理由
①	1人 (0・1・0人)	1人 (1・0・0人)	2人 (5%)	(普)・授業の予習もできたので、すごく自分の中で励みにもなったし、勉強が楽になりました。(産)・とてもいいです
②	13人 (4・4・5人)	2人 (1・1・0人)	15人 (36%)	(普)・充実している ・分からない所があったら分かりやすく指導してもらえるから ・テストの成績がよくなった ・集中できる ・テスト期間中分からない所を教えてもらえる ・集中できる環境で苦手な部分にしっかり力を入れて学習できていい (産)・しっかり勉強できた
③	16人 (8・6・2人)	3人 (1・0・2人)	19人 (45%)	・集中できる
④	3人 (0・3・0人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	
⑤	3人 (1・0・2人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	・ただ2時間黙々とプリントをやるだけで、やる気がなくなるし、つまらない ・講師が変わり、あまりよくなかった ・先生が変わったから ・自分の勉強したい教科ができない ・雰囲気が悪い。個別で机を仕切るようにすればよい

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、昨年度から町内中学3年生は全員体験塾を本校で実施しているため、普通科1年生の周知度は高い。

・3年前から指導教科や時間帯を増やしているが、受講者数は29名(昨年:23名)で、そのうち通年者は10名(昨年:18名)と、前年より減少している部分もあり、原因対策を塾長や学校と協議しながら取り組んでいる。

・7月～3月までは、前半(16:00～18:00)・後半(18:30～20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、少ない(2年4名、1年8名)が、バス通学生にとっては好評のようである。

・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価は41%(昨年:72%)と例年よりもかなり低い評価である。反対に「やや不満・不満」との否定的評価は14%(昨年:0%)と増加している。生徒の思いを塾側や学校と十分検討した上で、今後の取組を進めていきたい。

※1, 2年生のみ答えてください。

Q4 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

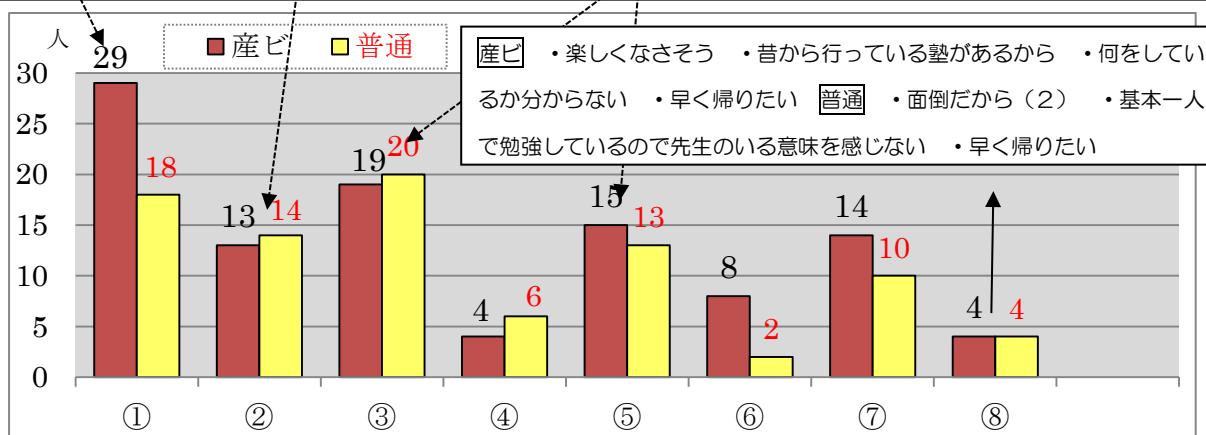
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	7人	2人	9人 (16%)	4人	2人	6人 (13%)	15人 (14%)
② 参加したくない	8人	13人	21人 (36%)	10人	13人	23人 (51%)	44人 (43%)
③ わからない	12人	16人	28人 (48%)	6人	10人	16人 (36%)	44人 (43%)

考察 現時点での「受講希望者」は、15名(昨年:22名)で例年より少ない。しかし、「わからない」の44名や新1年生に対して、十分な紹介をしていく必要がある。その結果として、受講者数や受講状況によっては、指導者を2人体制から1人体制に変更していかざるを得ないと考えている。

※ 「はやぶさ塾」に参加していない人だけ答えてください。

Q5 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。下の①～⑧の中で当てはまるものをすべて選んでください

- ① 必要性を感じない ② 部活動の後は学習意欲がわかない ③ 20時30分終了だと帰宅手段(バス・迎え)がない ④ 塾の勉強の仕方が自分に合わない ⑤ 自分一人で勉強したい ⑥ 塾に行く時間がない ⑦ 受講料が高い(半期:1万円) ⑧ その他



考察 「参加していない理由」の多くは①「必要性を感じない」、③「帰宅手段がない」、⑤「自分一人で勉強したい」、②「部活動の後は学習意欲がわかない」といったもので、例年とあまり差異はない。

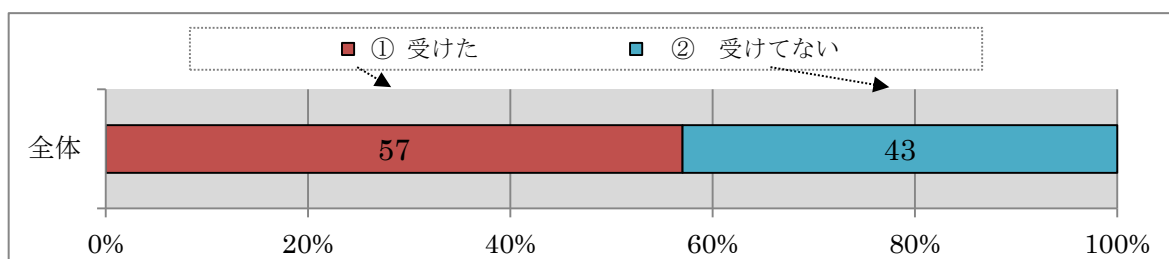
(3) 本町では油木高校生に対して各種検定受検料の補助(合格者のみ)をしていますが、令和2年2月～令和3年1月の期間で、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計 (人)
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	3	2	6	11	0	1	1	2	13
漢字検定	4	1	5	10	3	2	4	9	19
数学検定	1	3	2	6	1	0	0	1	7
小型車両系建設機械(整地等) 小型フォークリフト特別教育講座	0	1	1	2	0	15	15	30	32

考察 ・科ごとに利用者数の違いはあるが、本年度初めて英語・漢字・数学検定の利用者が両学科ともにあった。また、小型車両系建設機械・小型フォークリフト特別講習の利用者も両学科ともにあった。

(4) 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。

(本年度の町外生徒は 61/154 名)



<本年度入寮者の概要>

* () 内数は町内生徒数

学年	男子 (最大収容人数: 31人)			女子 (最大収容人数: 12人)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
人数	7人(0)	13人(0)	7人(0)	1人(0)	3人(1)	2人(0)
計	27人(0)			6人(1)		

考察 ・補助利用者は35人(57%)で、利用していない町外生は26人(47%)である。非利用者の多くは寮生(寮の町外人数: 男子27/27人・女子5/6人)のようなので、実質の利用率はほぼ100%で、非常に高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つではある。

(5) 次の質問については、1, 2年生のみ教えてください。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2) (%)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	9人	2人	11人 (19%)	6人	5人	11人 (24%)	22人 (22%)
② 希望なし	11人	19人	30人 (53%)	8人	9人	17人 (38%)	47人 (46%)
③ わからない	8人	8人	16人 (28%)	6人	11人	17人 (38%)	33人 (32%)

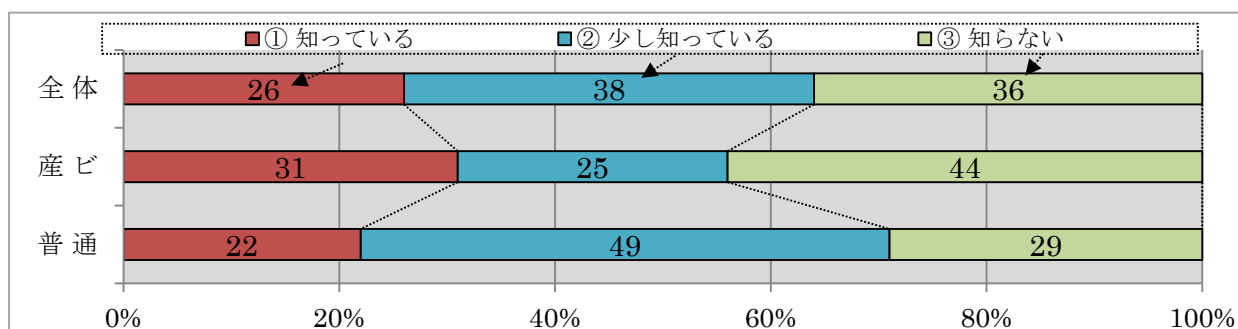
Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

① 短期 (2週間) ② 長期 (10週間)

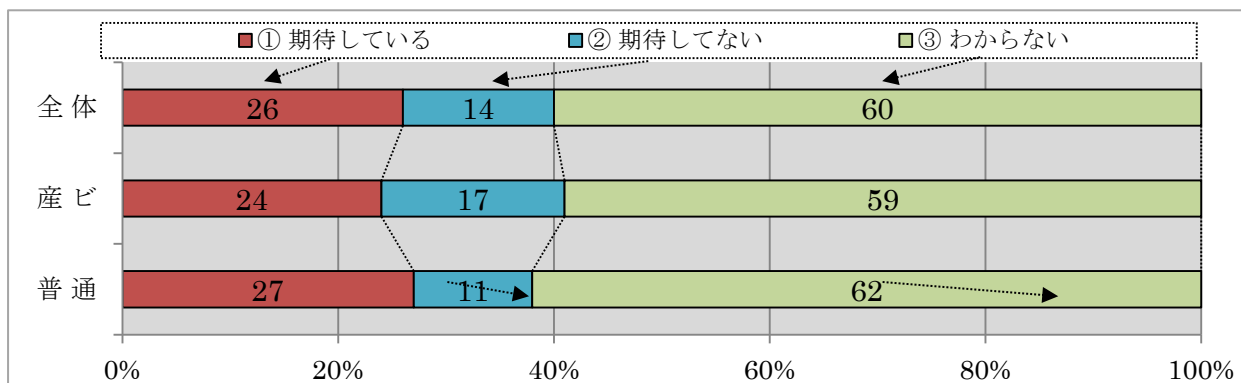
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+②	③ 1年生	④ 2年生	③+④	
① 短 期	7人	1人	8人	4人	3人	7人	15人
② 長 期	2人	1人	3人	2人	2人	4人	7人

考察 ・ 現段階の「参加希望有り」と回答した生徒は、22名（昨年12名）とかなり多い、その中で短期が15名、長期が7名と回答している。いずれにせよ、定員数よりかなりオーバーしており、今後増える可能性もある。
ただ、昨年度からコロナの影響で実施できていないが、来年度についても不透明な部分が多い。しかし、現実的に実施の可能性はかなり低いと思われる。そこで、その代替案的なもので何か計画できないか模索しているが、今後のコロナの状況や高校側の思いなどを勘案しながら検討していきたい。

(6) Q1 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために「油木高校魅力化+7プラスプロジェクト」に取り組んでいます。その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を現在、実施中ですが、その「油木高校魅力化+7プラスプロジェクト」のことを知っていますか。

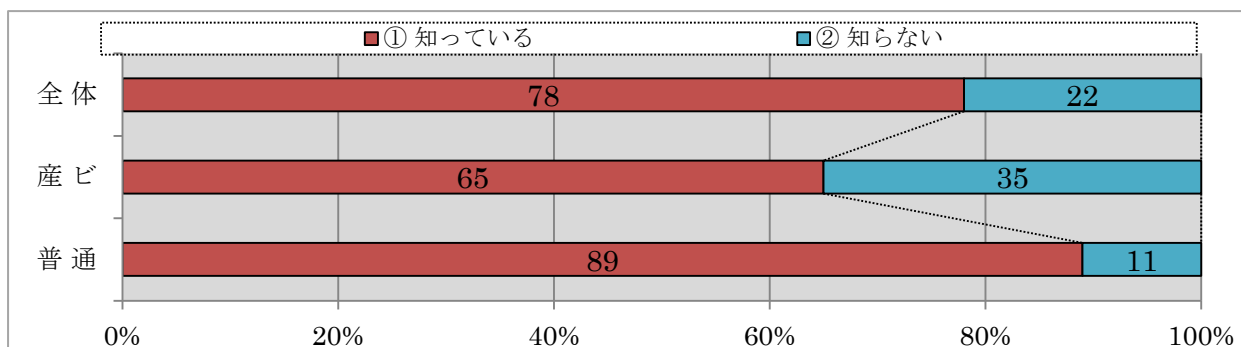


Q2 「油木高校魅力化+(7ラズ)プロジェクト」に期待感をもっていますか。

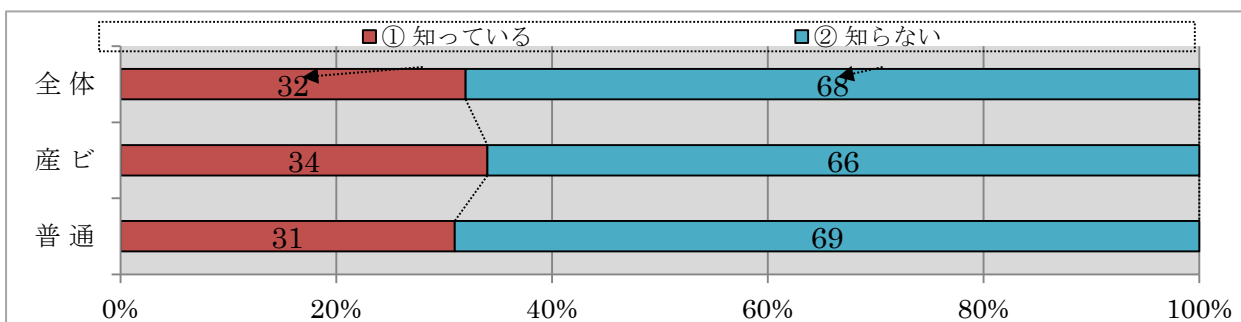


考察 ・昨年度の生徒の期待度は全体で「期待している：21%、期待していない：9%、わからない：70%」であったが、本年度もあまり状況変化はない。しかし、生徒が学習している「探究的な学習の時間」への関心・意欲・態度は前年よりどの学年も高まっていると感じている。

(7) Q1 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか



Q2 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では、どんなことをしているか知っていますか。



Q3 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。 ※()内は昨年度の人数

	産業ビジネス科	普通科	計
	受講したことがある	受講したことがある	受講したことがある
1年生	2人(0人)	3人(0人)	5人(0人)
2年生	2人(7人)	2人(4人)	4人(11人)
3年生	6人(0人)	3人(2人)	9人(2人)
計	10人(7人)	8人(6人)	18人(13人)

Q4 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

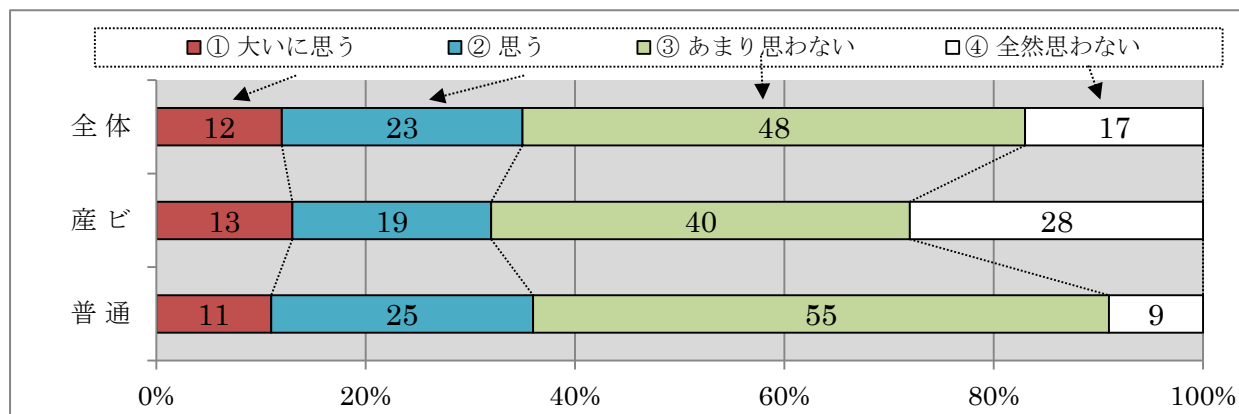
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
1年生	1	0	3	3	0	0	2	0
2年生	0	0	4	2	2	0	0	0
3年生	3	3	4	0	1	0	1	0
計	4人	3人	11人	5人	3人	0人	3人	0人

考察 ・放課後「神ゼミ」に係る上記質問の回答率は、すべてにおいて前年を上回っている。「目的なり興味を持って受講している生徒は、確実に成果を上げている。」と指導者から報告を受けている。

・しかし、受講者が少ないだけに、増える取組なり作戦を考えていく必要がある。そして、指導者側は自信を持って、今後も研鑽を積みながら、実績の見える化(外部の発表大会等での入賞)を図っていく必要がある。

・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+7°」の目玉でもあるので、より多くの生徒が受講し、中身も充実したものになるよう、実績のある(株)プリパンの指導や支援を今後もお願いしていきたい。

5 (1) あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。

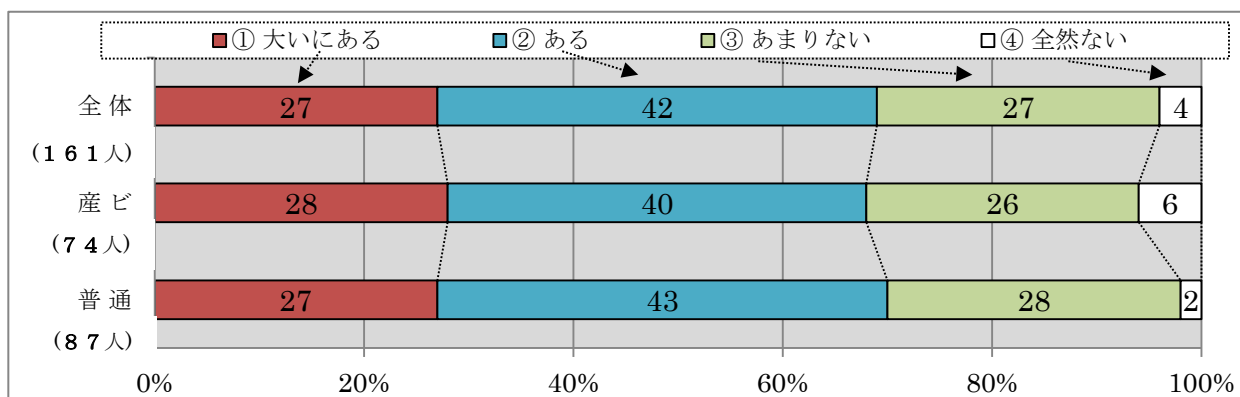


	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				全体
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	3	3	3	9 (11%)	3	4	2	9 (13%)	18 (12%)
② 思う	6	8	7	21 (25%)	3	3	7	13 (19%)	34 (23%)
③ あまり思わない	17	16	13	46 (55%)	9	11	7	27 (40%)	73 (48%)
④ 全然思わない	2	3	2	7 (9%)	5	7	7	19 (28%)	26 (17%)
小計	28	30	25	83	20	25	23	68	151

考察 ・全体では、①「大いに思う」が12%（昨年10%）と約1割、人数では18人（昨年16人）である。そして、「思う」は23%（昨年23%）で、肯定的回答は約1/3である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は65%で、約2/3を占めている。特に産ビ科で「全然思わない」が28%と多いのは、町外生が多いことが影響しているものと思われる。

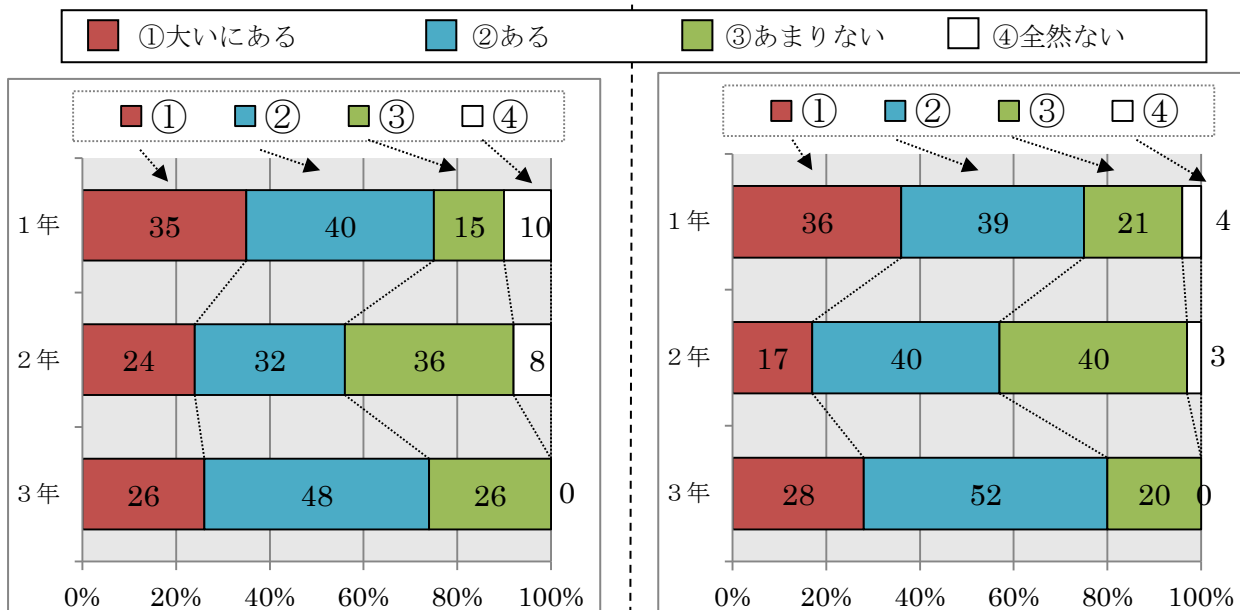
・**学科別では**、「大いに思う」は若干（2%）ではあるが産ビ科生の方が多いものの、「思う」を含めた肯定的回答率では4%ほど普通科生の方が多くなっている。

(2) あなたは、自分の地元貢献したいという気持ちがありますか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >



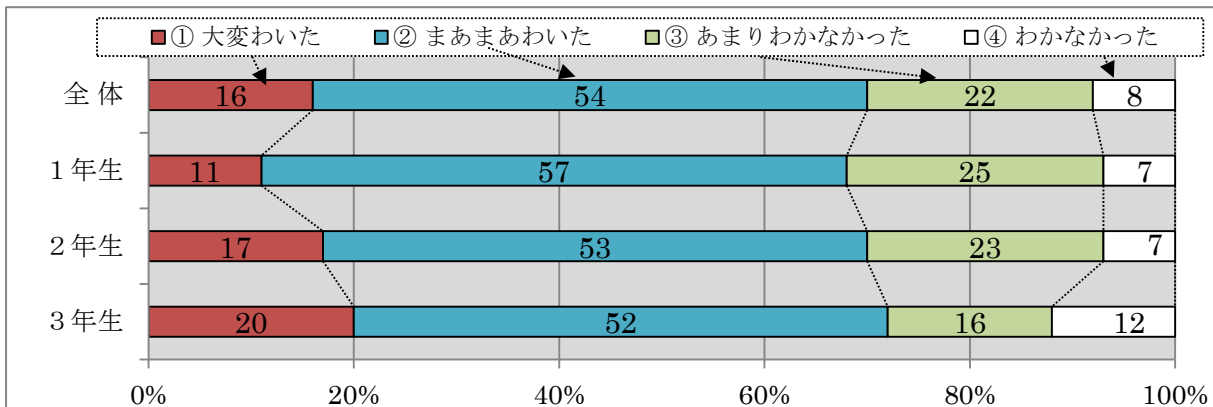
	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	7	6	6	19 (28%)	10	5	7	22 (17%)	41 (27%)
② ある	8	8	11	27 (40%)	11	12	13	36 (39%)	63 (42%)
③ あまりない	3	9	6	18 (26%)	6	12	5	23 (37%)	41 (27%)
④ 全然ない	2	2	0	4 (6%)	1	1	0	2 (7%)	6 (4%)

考察 ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が27%（昨年19%）で、「ある」を含めた肯定的回答は69%（昨年54%）で2/3以上と、昨年よりも増加しているのはうれしいことである。

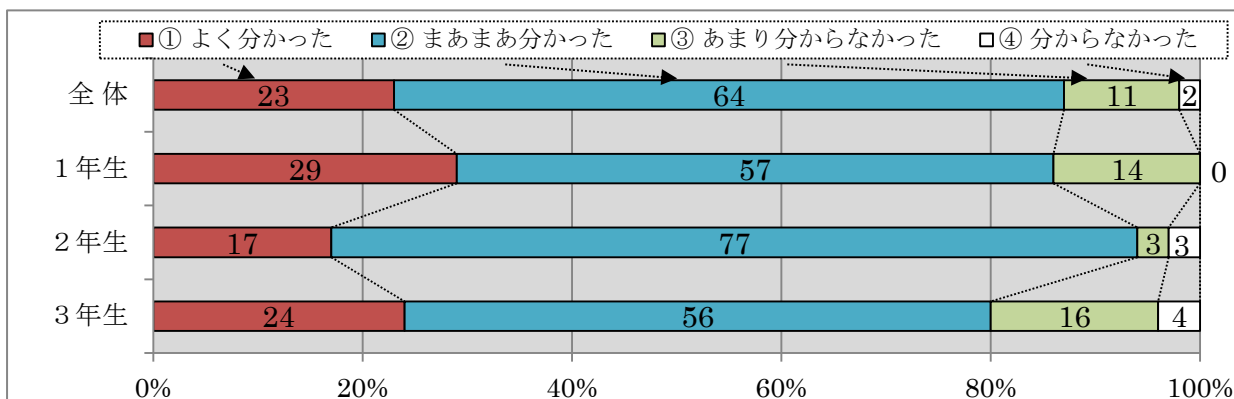
- ・学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合は、普通科と産ビ科の数値にほとんど差はない。
- ・学科別・学年別では、肯定的回答が70%以上は4クラスあり、昨年は1クラス（普通科2年）のみであった。

⑥ 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。 *普通科の1～3年生のみ答えてください。

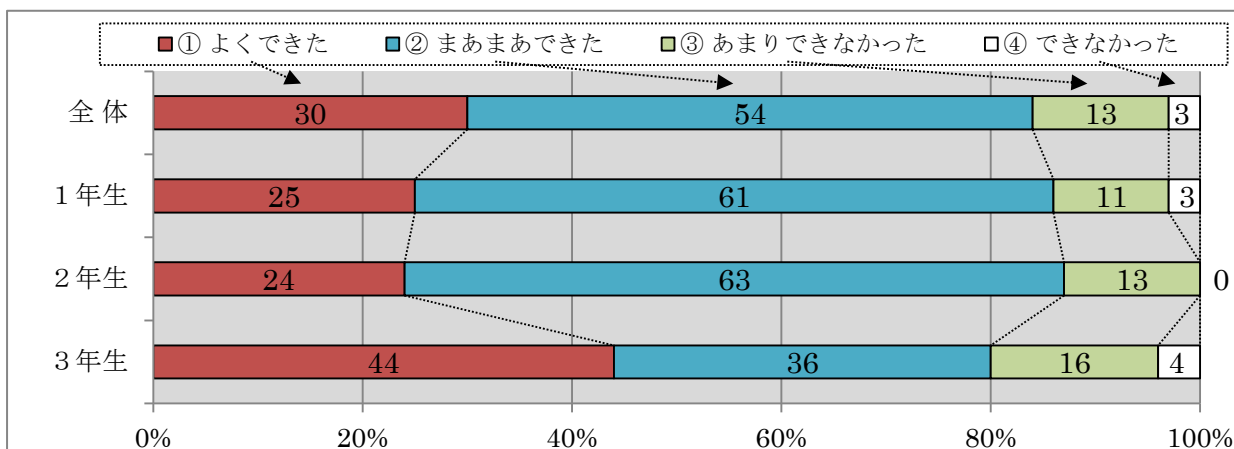
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。(興味・関心・意欲)



(2) 授業内容はわかりましたか。(理解度)



(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。(態度・活動面)

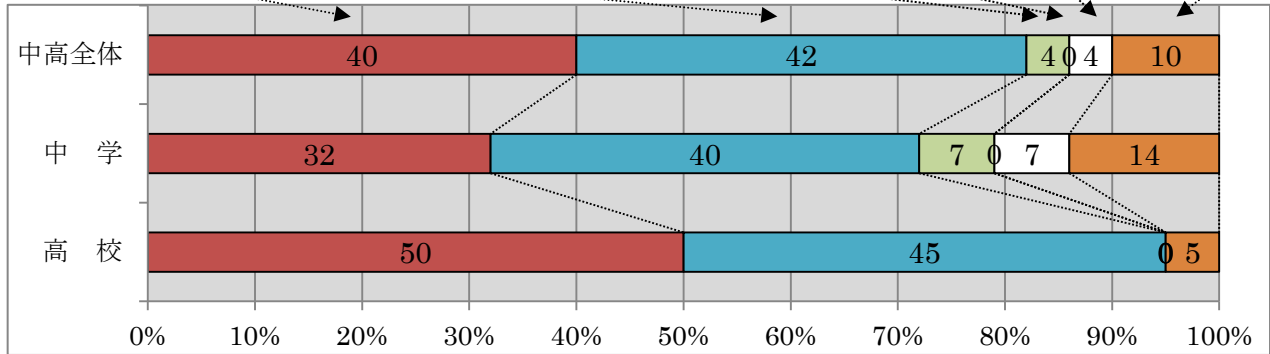


考察 ・普通科の全学年に「総合的な探究の時間」について、(1)で興味・関心・意欲、(2)で理解度、(3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが、どの項目についてもあまり学年差は感じられなかった。その中で、(3)の態度・活動面で3年生約半数（44%）の生徒が積極的に活動が「よくできた」との高い自己評価をしていた。

3. 町内中学校・油木高校教職員 編

① 本町では油木高校のピアーールや魅力化のために、広報紙「中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」、神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援、「油木高校ガイドブック」などを作製し、町民や関係保護者に配布していますが、これらのことについてどう思われますか。

① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



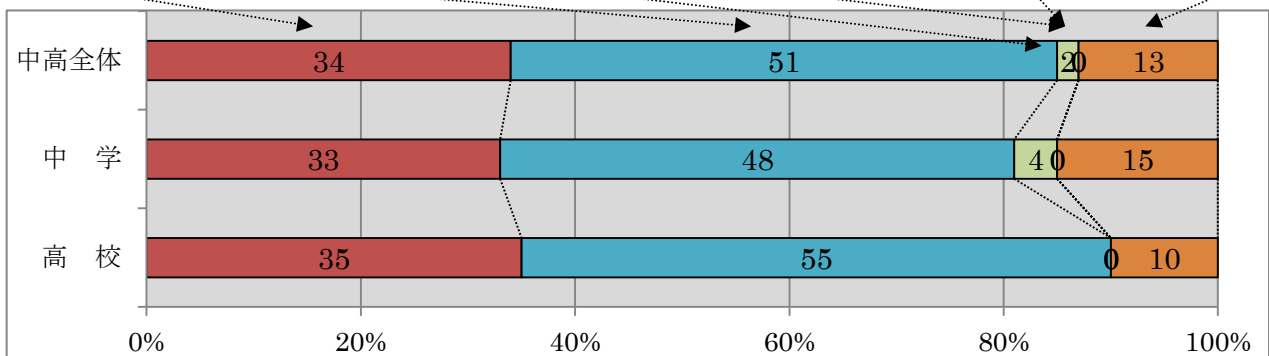
考察 全体では、「大変効果がある・少しは効果がある」の肯定的回答は82%（昨年95%）で多くの方が評価されているが、前年より中高ともに減少（中：96%→72%、高：100%→95%）しており、一考を要する。

② 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的な交流授業

（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。

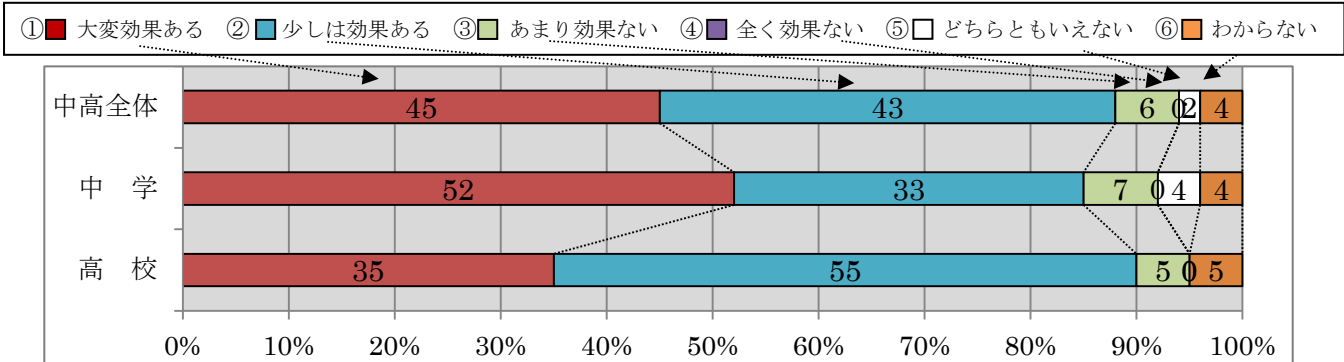
① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



<推進上の課題>

（中）・特定の教科のみで効果が実感できない ・日程調整が必要
 （高）・当該教科への負担がある ・交流授業は良いが当該教科に負担が大きい。もっと県のバックアップが欲しい
 ・勤務校の授業があまり持てない ・他の教科でも年1回の単発でよいので実施できないか ・他教科でも実施可能か
 ・もっとそれぞれの校種の特徴や良さがわかるような工夫が出来ればよいと思うのですが
 ・実施側として、中高連携を行うことでどのようなプロセスでどう変容させたいのかが不明瞭で、期待通りの機能を果たしているのが不安です

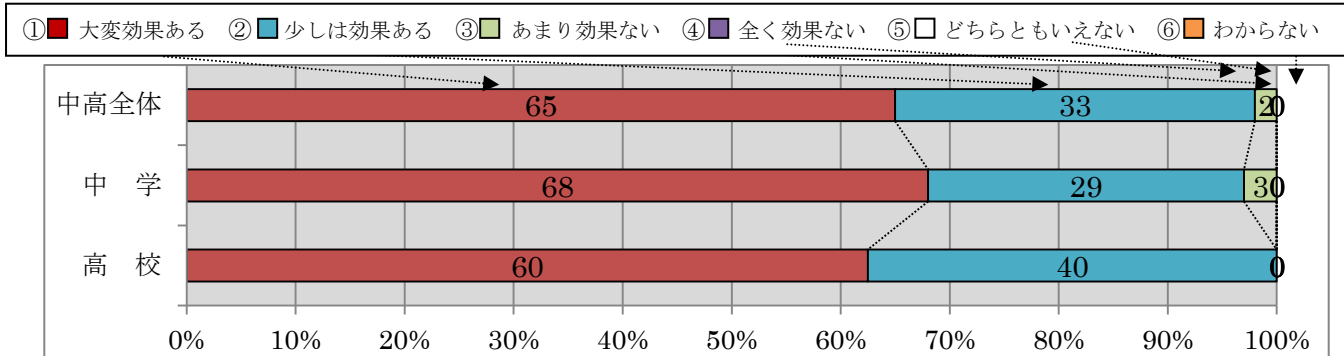
(2) 部活動交流について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・日程調整が難しい ・部活によっては日程が合わず難しい ・学期に一度でも交流ができると大変効果があると思うが、現状難しい ・したくてもするまでの手続きや移動、コロナに対する対策の違いなどからうまく進まない。スマートにならないだろうか (高)・日程や移動が難しい (2) ・日常的なものになれば良いが難しい ・競技の特性上難しい部活動もあるかも知れないがもっと交流があってよいと思う ・コロナ禍が続く中での実施は工夫が必要 ・もっと交流の機会の機会を増やす方が効果が上がると思う ・予算以外で交流の枠組みや機会提供があると連携しやすいが、現状顧問裁量に委ねられ過ぎではと感じる。

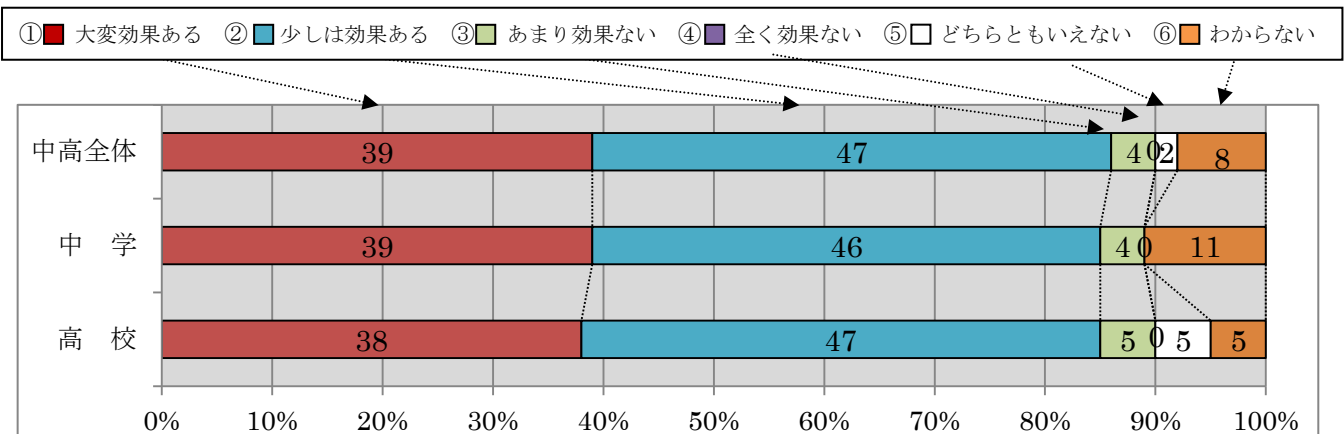
(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・オープンスクールで志望を変えた生徒もいる ・高校の良い姿を見せるのは進路先としても良いイメージにつながると思う ・日程調整 (高)・町教委がどういう関わり方をしているのかピンとこない ・交流機会を増やし、町外進学を減らすよう努めては ・課題ではないが中学校の取組内容も知りたい ・行事の幅を広げて球技大会や運動会などの交流を考えてみたらよいのではないのでしょうか

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

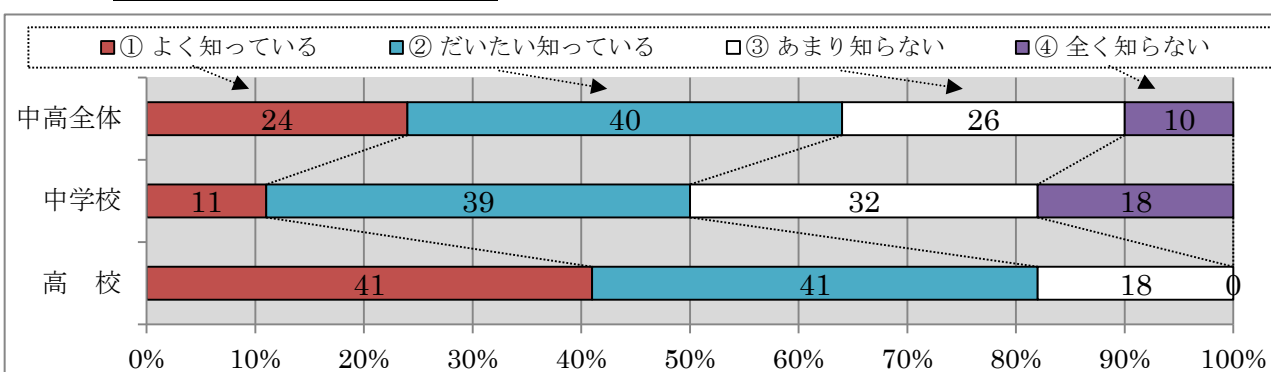
(中)・今年度は出来ていない ・日程調整

(高)・普段から相互の授業を参観したり意見を交換する機会を増やす方が良いと思う ・余裕がない

考察 ・中高全体では、どの項目も「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が80%以上ある。
 なかでも、「学校行事への参加」は98%の高い肯定的評価で「効果がある」との認識が非常に高い。

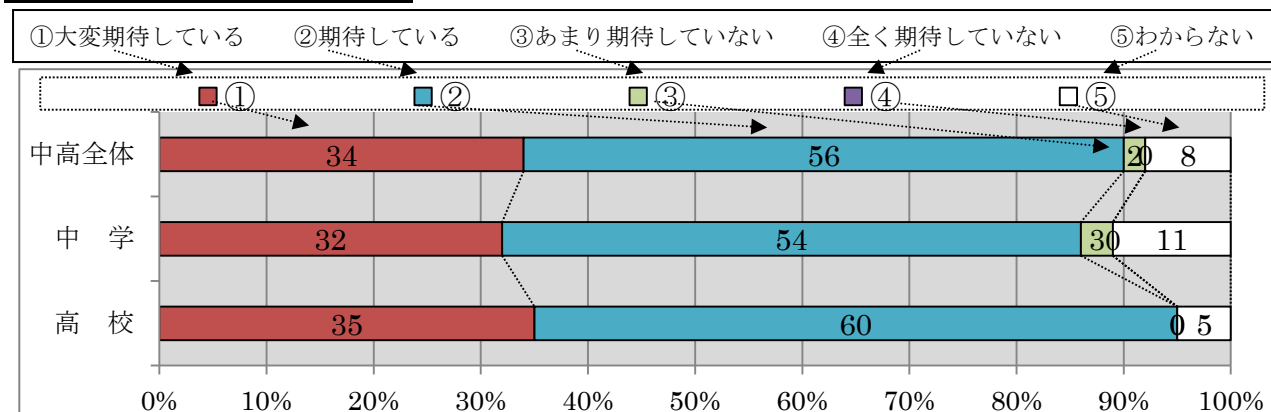
・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろあげて頂いているので、いずれも教育内容に関わるものだけに、一つ一つ中高一貫教育推進委員会を中心として、校長会や事務局会等で検討し、今後の方向性を出していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

③ 本町と油木高校では、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでいますが、その取組内容を知っておられますか。



考察 ・「油木高校魅力化+プロジェクト」の取組内容の認知度は、中高に30%以上の差があるが、「あまり知らない、全く知らない」の否定的回答が中学校で50%あることを意識して、情報提供していく必要がある。

④ 「油木高校魅力化+プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域や学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しようとしていますが、そのこと
にどの程度期待感をもっておられますか

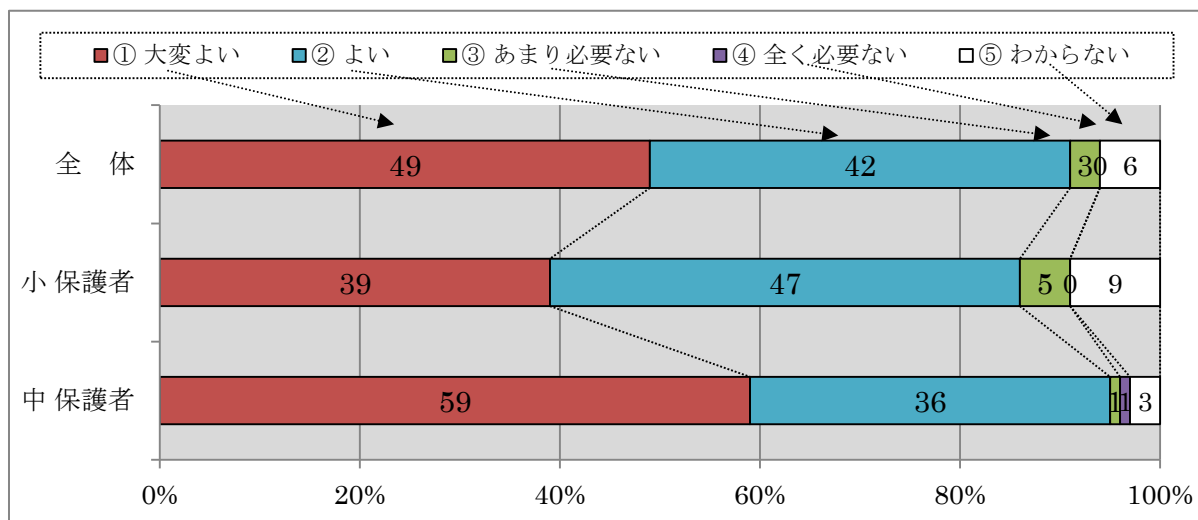


考察 ・中高全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が90%と高い評価ではあるが、昨年の78%を大きく上回り、期待度の高いことが伺われる。

・中高別では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が昨年は高校の方が低かったが、本年度はいずれも高校の方が高く、高校での期待度の高さが伺える。

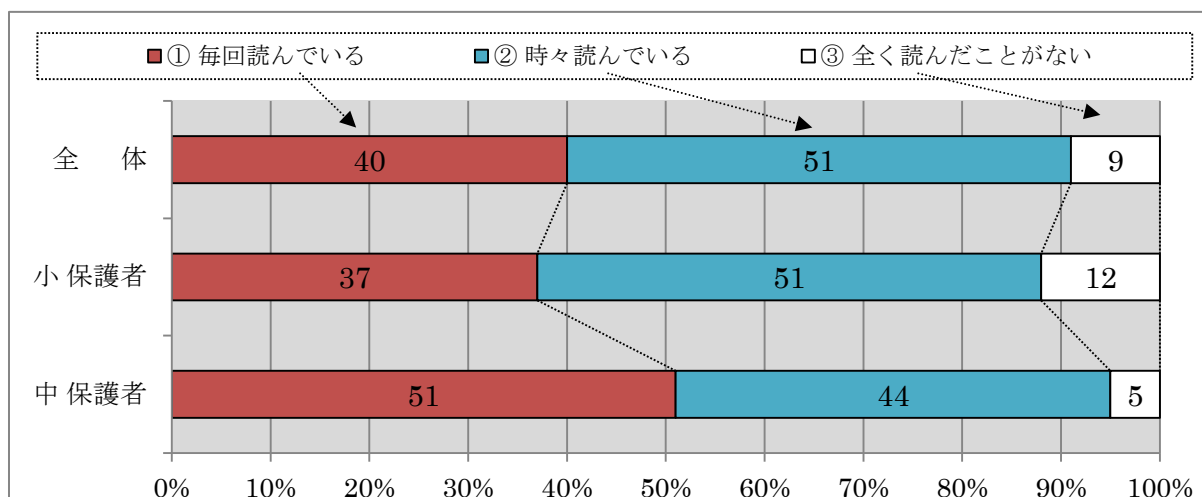
4. 小学校(4～6年生)・全中学校 保護者 編

- ① 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業，部活動交流，学校行事への相互参加，教職員の交流など）が実施されていますが，そのことについてどう思いますか。



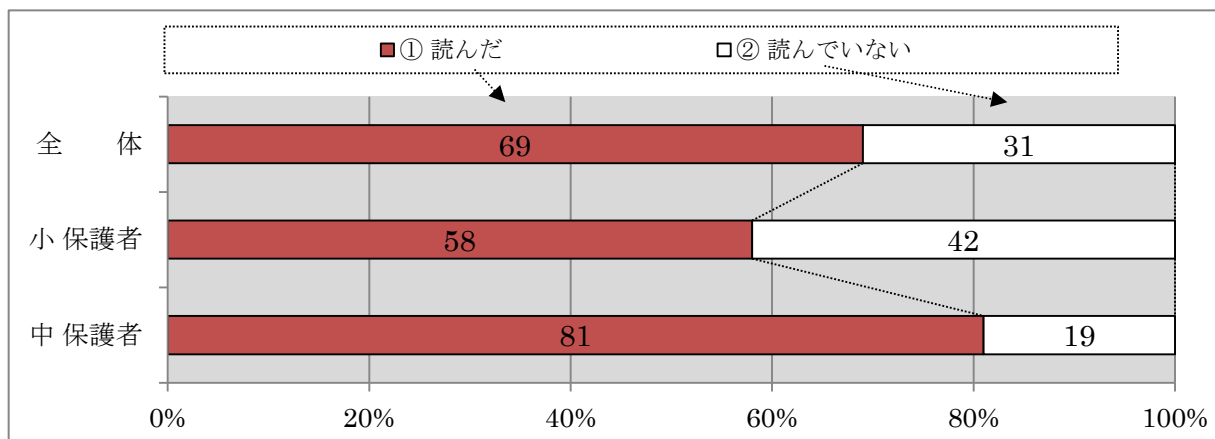
考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答 85%（昨年 86%）、「あまり必要ない・全く必要ない」の否定的回答 2%（昨年 3%）と大きな変化はない。また、「わからない」とする数値 13%（昨年 11%）で，特に小学校は 17%あり，これまで小学校保護者への情報提供は，広報紙『中高一貫教育ジャーナル高原の風』に連携教育の取組みを紹介したり，ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図ってきたが，今後も一層の情報提供に努めていかなければならない。

- ② 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが，読んでおられますか。



考察 多くの保護者にだいたい読んで頂いている肯定的回答は 87%（昨年 90%）で，一方「全く読んだことがない」は 13%（昨年 10%）とあまり大きな変化はない。ただ，小学校保護者と中学校保護者を比較した時，毎年 10%ぐらい小学校が低いのは，関心度によるものと思われる。いずれにせよ，その数値を上げていくために魅力ある中身づくりに努めていく必要がある。

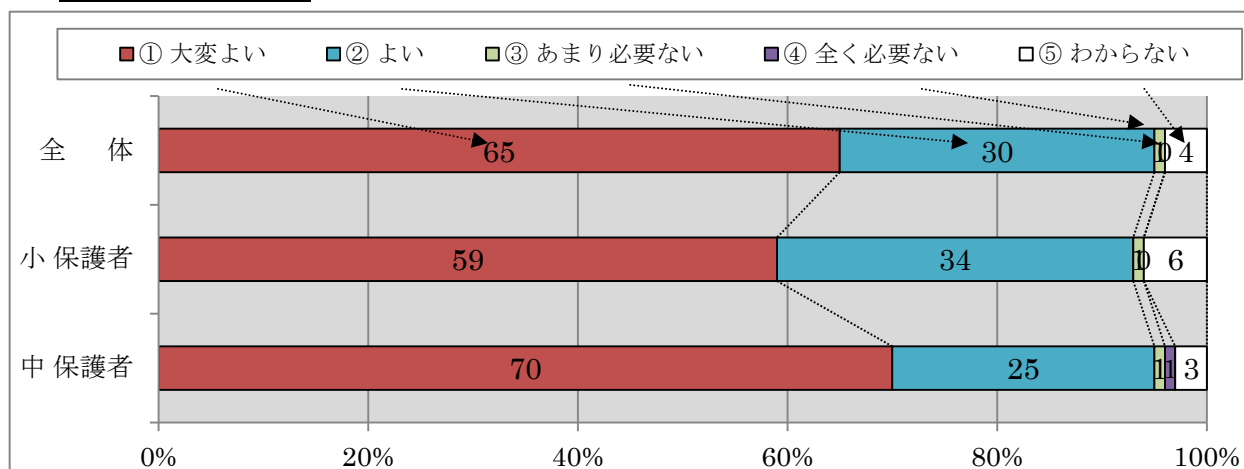
③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への7つの支援』リーフレットを読まれましたか。



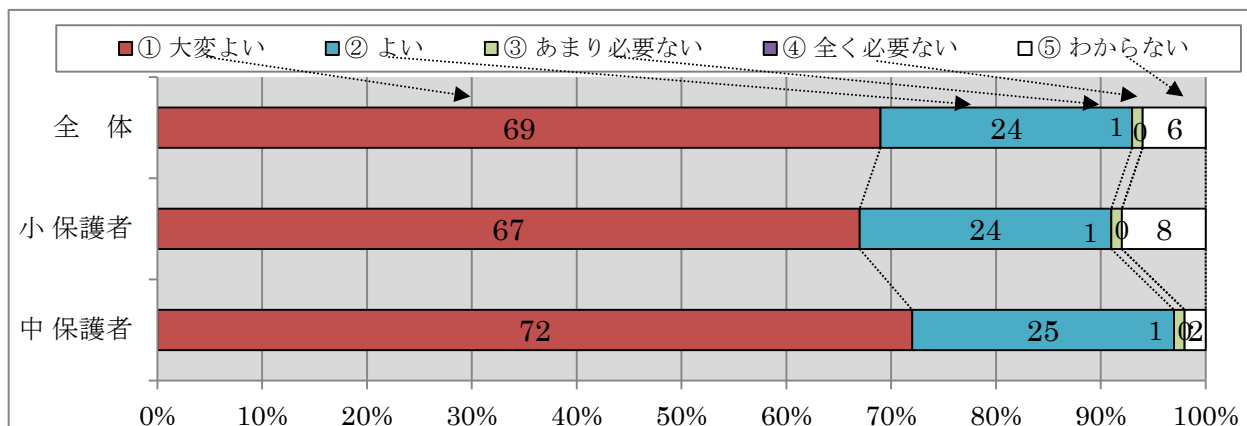
考察 全体としては、62%（昨年 58%、一昨年 63%）読まれており、「中高一貫教育ジャーナル高原の風」よりも多くの保護者が読まれている。しかし、この「油木高校生への7つの支援」は、油木高校の一つの魅力でもあるので、関係保護者に知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校進路説明会などでも高校や町からのPRをしていく必要がある。

④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

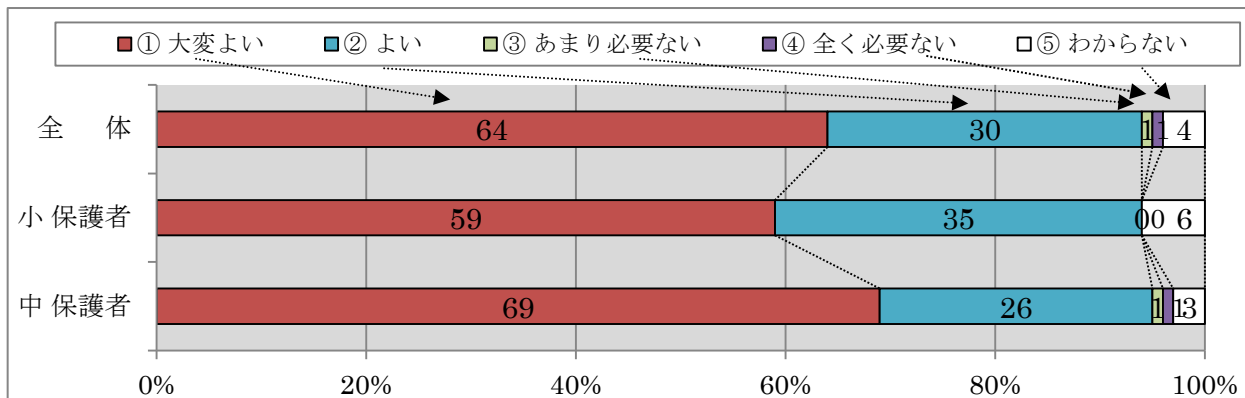
(1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



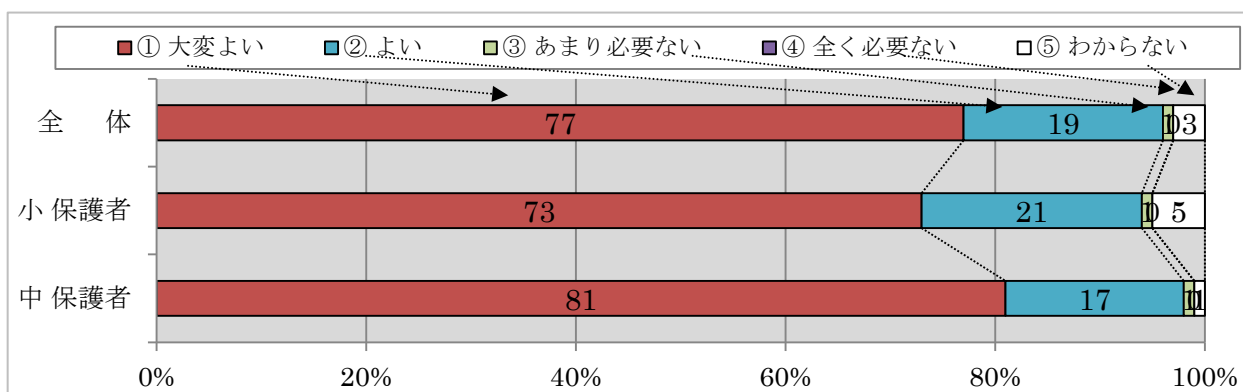
(2) 油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾・神ゼミ）の開設について、どう思いますか。



(3) 海外短期（語学・農業）研修事業への支援について、どう思いますか。



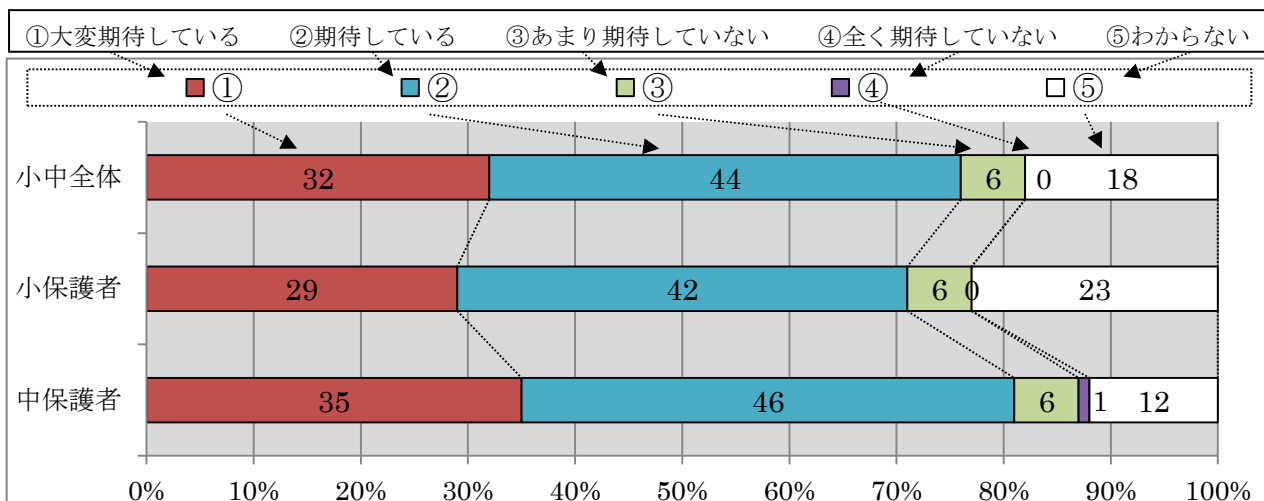
(4) 各種検定受験料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。



考察・ すべての項目で、90%以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、高い評価を受けている。

- ・ 小、中学校別で見た時、あまり数値に大きな差（1～2%）はない。
- ・ このように多くの項目において保護者の期待度が高いだけに、今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

⑤ 本町では現在、慶應義塾大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組み、具体策（総合学習のカリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を実施中ですが、この事業にどの程度期待感を持っておられますか。

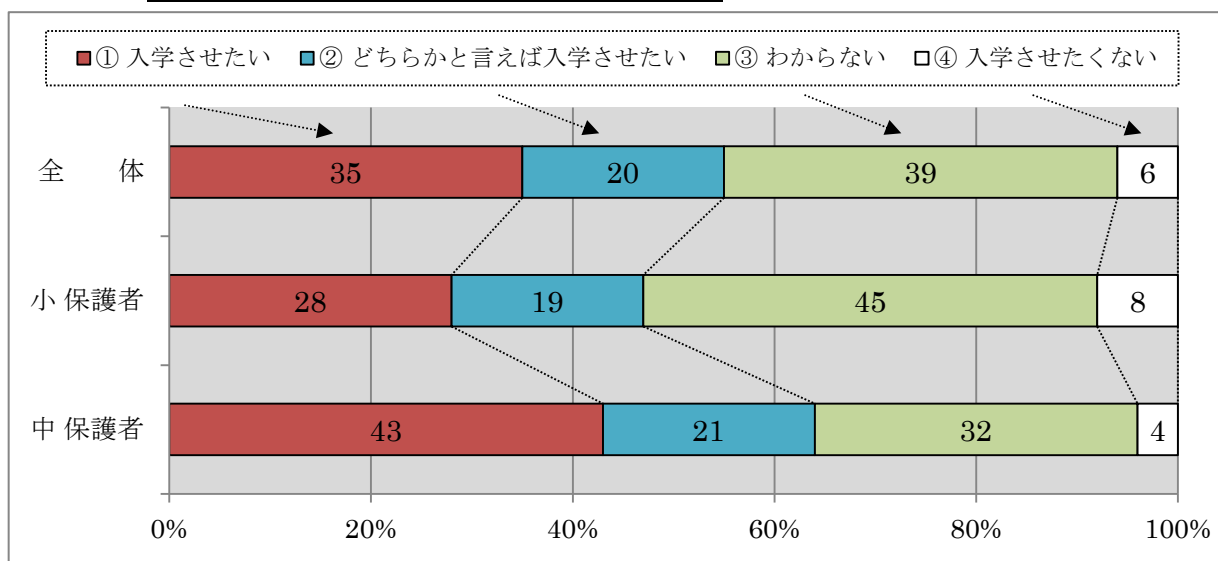


考察 ・小中の保護者全体では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が71%（昨年68%）で、大変高い評価であるが、本事業の中身について、これまで保護者に十分な情報提供や説明ができていない中での数値だけに、重く受け止めていかなければならない。本年度「中高一貫教育講演会」で再度（株）プリマペンギン社に本事業の中身についてお話ししていただく予定であったが、コロナの関係で実施できなかった。

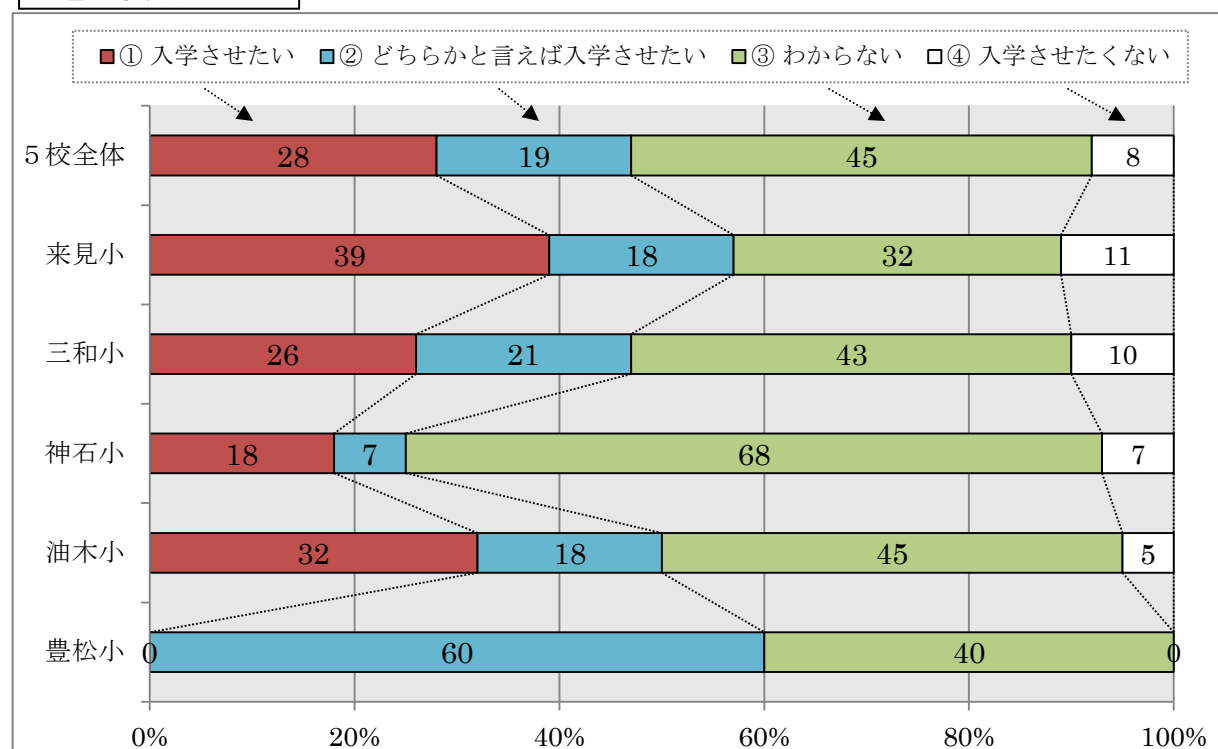
・小中保護者別でも、それぞれの回答数値にあまり大きな差はない。

・本事業は「油木高校の魅力づくり」が「神石高原町の地域づくり」につながるものでもあるので、今後も地域・関係者等へ色々な形（情報紙、高校説明会等、ホームページ、講演会 など）で情報提供していく必要がある。

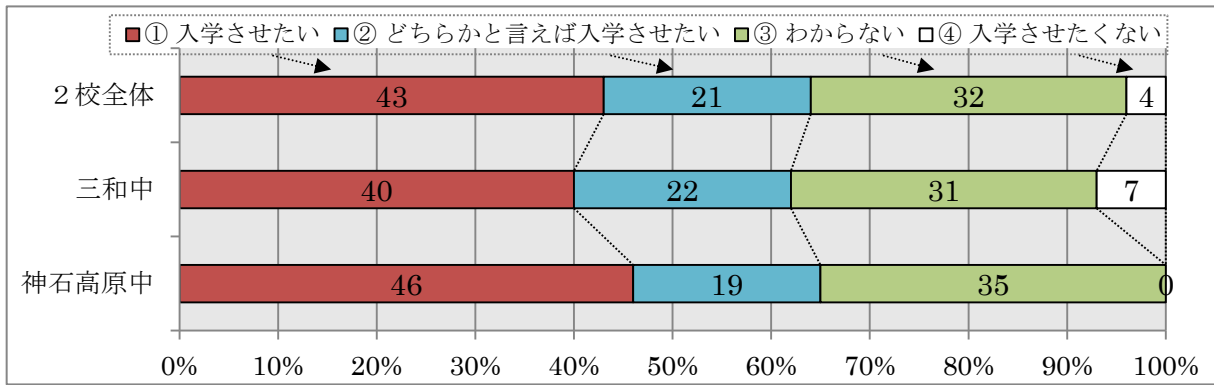
⑥ (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



＜各中学校別では＞



考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年53%、一昨年46%）で昨年と同じであった。

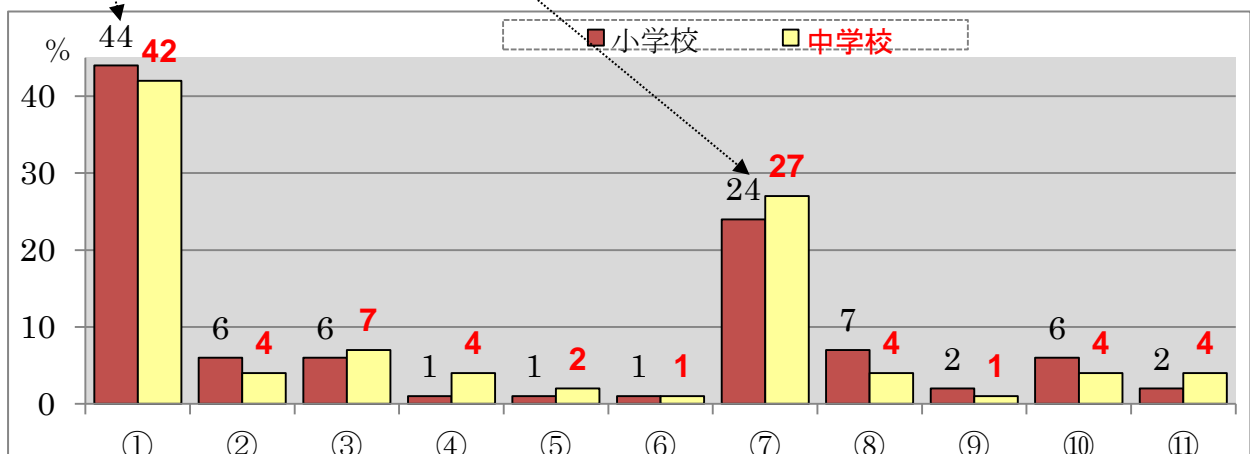
・小中学校別では、どの項目も小中学校の差はこれまでほとんど見られなかったが、本年度は「わからない」は小学校が多く、「入学させたくない」は中学校が多かった。

・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が4校（昨年4校）である。中でも、油木小学校65%、豊松小学校63%と高い肯定的回答である。

・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率が50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が多いだけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思ふものを下の中から選んでください。（複数回答可）

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある
- ⑥ 施設設備がよい ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等） ⑧ 学校や生徒の雰囲気
- ⑨ 家族等の薦め ⑩ 友人関係 ⑪ その他



⑪ その他（小学校）

- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・生徒一人一人に指導が行き届く。
- ・油木高校の卒業生だから
- ・本人の希望だから

⑪ その他（中学校）

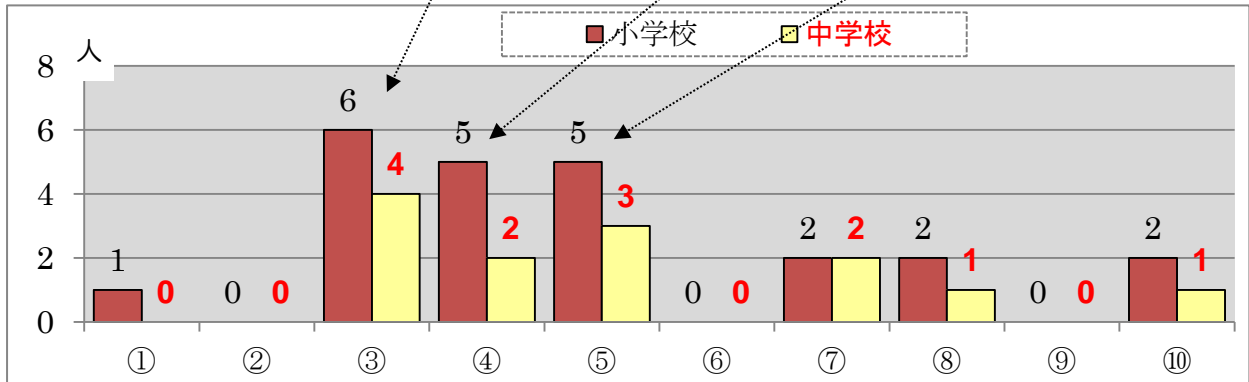
- ・個性も大切にされていて生徒も楽しそうに見える。(2)
- ・長女が今年油木高校卒業予定で、良い学校だと思います。
- ・福山へ行くバスの便が無くなったので。
- ・福山など遠方には通わされない。
- ・中高一貫なので入試に受かりやすい。
- ・地元の高校に通って欲しい
- ・本人の希望 (2)

考察 ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかなければならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、町としてできる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に○印をしてください。

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他（小学校）

・信頼できる教師がない。(2)

⑩ その他（中学校）

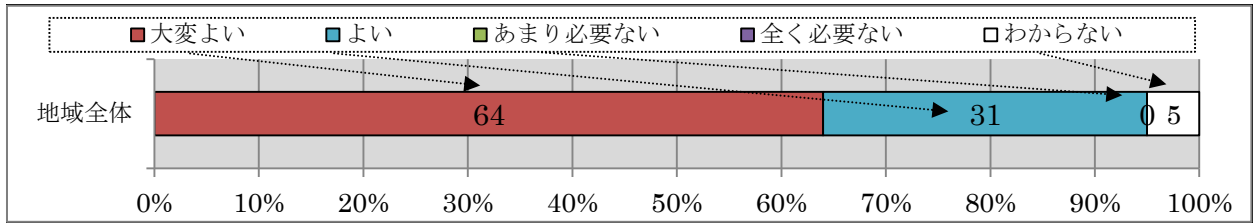
・大人が見学に行っても寝ている生徒が居たり、それを注意しない先生がいるので、PTA以外などがすぐくても質の問題が心配。

考察 ・高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、③「子ども本人の希望」、続いて⑤「教育内容面」、そして④「学習環境面」でした。

これらのことから、保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。

5. 町内地域編

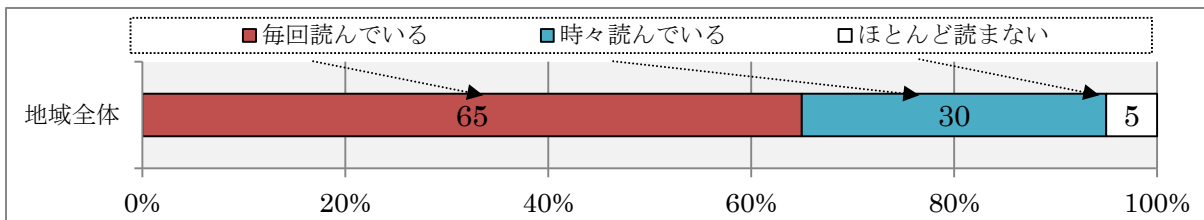
- ① 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



<意見> ・公立高校の在り方を…？と、感じています。他の地域は？

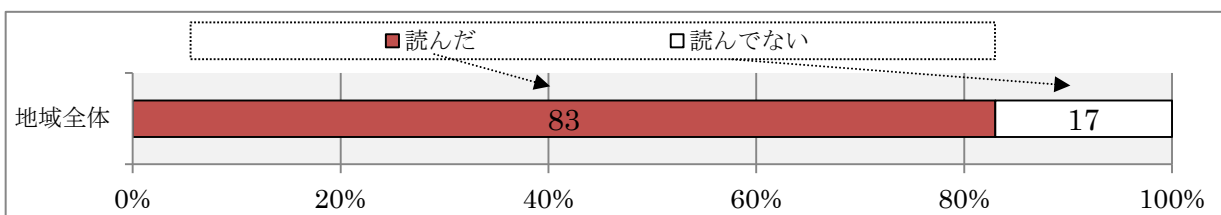
考察 地域の多くの方々（95%）は、中高連携教育を「よい」とする肯定的回答がほとんどで、「必要ない」との否定的回答は0%であったが、今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

- ② 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが、読まれていますか。



考察 「毎回読んでいる」が65%と前年度（69%）よりやや減少しているが、多くの方々に読んで頂いている。今後一層「毎回読んでいる」が向上していくよう中身の充実にも努めていかなければならない。

- ③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。

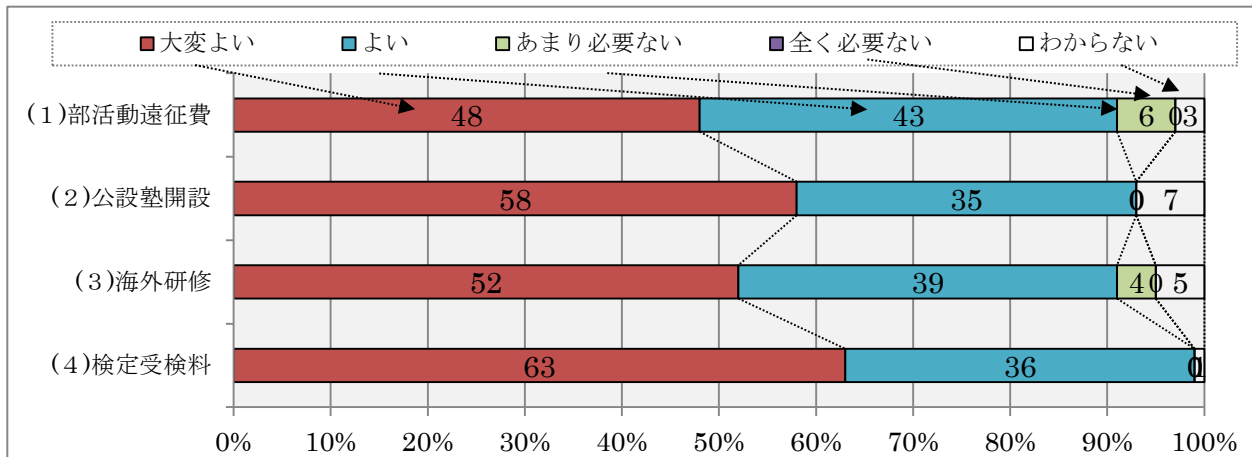


考察 本年度も多くの方々（83% 昨年：88%）に読んで頂いているが、この「8つの支援」は、油木高校の魅力でもあるので、地域の方々にもしっかりと知ってもらい、声を聞きながら検討していくためにも、リーフレットの配布は今後も継続していく必要がある。

- ④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

- (1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。
- (2) 油木高校内での公設塾「はやぶさ塾・神ゼミ」の開設について、どう思いますか。
- (3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。
- (4) 各種検定の受検料補助（合格者のみ）について、どう思いますか。

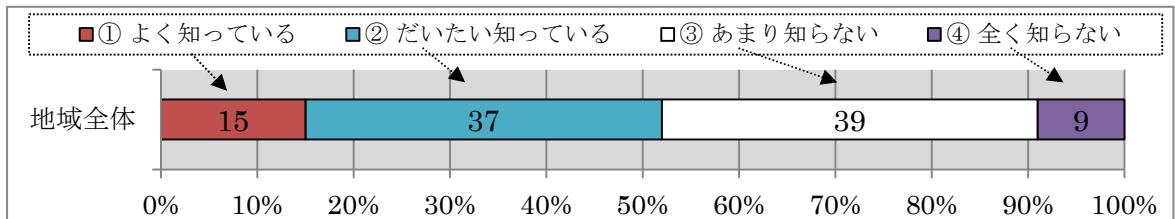
␌ <意見> 金額を調整して受検者全員には不可能ですか？



考察 各項目とも「大変よい」「よい」を合わせてほしい90%以上あり、肯定的回答が非常に多い。しかも「大変よい」がほしい50%以上あり、最も多い。

この数値が示すように、地域住民の期待は大きいことから、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。

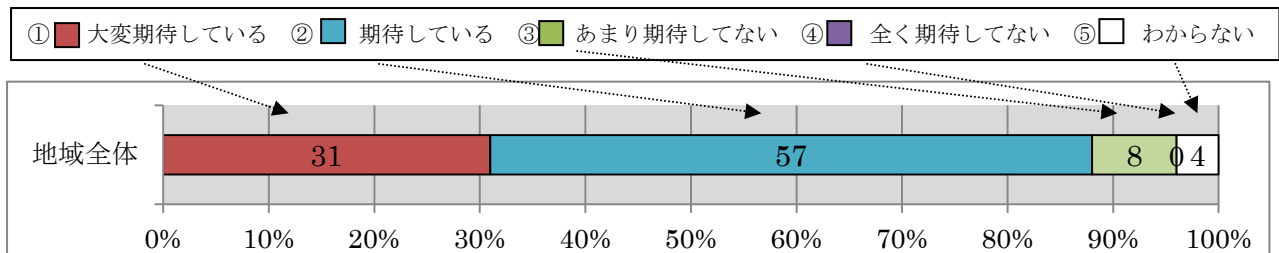
⑤ 本町では現在、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組み、その具体策（総合学習のカリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を検討し、実施しているところですが、その取組内容をご存じですか。



<意見>・県内の大学ではいけないのですか？ ・進学実績は上がっていますか？

考察 「知っている・だいたい知っている」との肯定的回答は52%と約半数はおられるが、反対に「あまり知らない・全く知らない」が48%と半数おられるので、広報紙や学校ホームページ、ケーブルTV等を活用して情報提供していく必要がある。

⑥ 「油木高校魅力化+プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域、学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しているところですが、そのことへのどの程度期待感をもっておられますか。



考察 ・地域全体では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が88%（昨年68%）と前年よりも20%増加している。これは、油木高校への期待度でもあるので、「油木高校魅力化+プロジェクト」の取組を充実させていく必要がある。また、取組内容や進捗状況を出来るだけ地域・関係者等へしっかりと情報提供（情報紙の配布、講演会や説明会等の実施、ホームページの掲載 など）していく必要がある。